



Avaya Device Enrollment Service を使用 してエンドポイントを管理する

Notices

© 2026 Avaya LLC. All Rights Reserved.

You may, at your own risk, assemble a MyDocs collection solely for your own internal business purposes, which constitutes a modification to the original published version of the publications. Avaya shall not be responsible for any modifications, additions, or deletions to the original published version of publications. You agree to defend, indemnify and hold harmless Avaya, Avaya's agents, servants and employees against all claims, lawsuits, demands and judgments arising out of, or in connection with, your modifications, additions or deletions to the publications.

A single topic or a collection of topics may come from multiple Avaya publications. All of the content in your collection is subject to the legal notices and disclaimers in the publications from which you assembled the collection. For information on licenses and license types, trademarks, and regulatory statements, see the original publications from which you copied the topics in your collection.

Except where expressly stated by Avaya otherwise, no use should be made of materials provided by Avaya on this site. All content on this site and the publications provided by Avaya including the selection, arrangement and design of the content is owned by Avaya and/or its licensors and is protected by copyright and other intellectual property laws including the sui generis rights relating to the protection of databases. Avaya owns all right, title and interest to any modifications, additions or deletions to the content in the Avaya publications.

注意

本ドキュメントに記載する情報を作成時点で完全かつ正確なものにするために十分な注意を払っておりますが、Avaya はいかなる誤りに対しても責任を一切負いません。Avaya は個人や団体に対し、事前の許可なく本ドキュメントに記されている情報を変更・修正する権利を保有しています。

本ドキュメントにおける免責事項

「ドキュメント」とは、一般に製品のユーザーに対して提供する製品情報、操作方法、性能規格などを含む情報で、さまざまな媒体で発行されます。ドキュメントに販売用資料は含まれません。Avaya は、ドキュメントの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対しても、それらが Avaya により、または明確に Avaya の代理として実行されたものでない限り、責任を負いません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、またはそれに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとします。

リンクに関する免責事項

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントにおいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼性について一切責任を負いません。また、そのようなリンクで説明、提供された製品、サービス、情報の正確性は、必ずしも Avaya の保証の対象になるものではありません。Avaya では、このようなリンクが常に機能することは保証できません。また、リンクされたページが利用できるかどうかについても管理は行っておりません。

「ホステッドサービス」とは、Avaya または正規の Avaya チャネルパートナー（いずれか該当するもの）のいずれかからお客様が入手する Avaya ホステッドサービスサブスクリプションであって、該当のホステッドサービスに関するホステッド SAS またはその他のサービス説明書に詳述されるもののことです。ホストサービスサブスクリプションを購入する場合、お客様には前述の限定保証は適用されない場合がありますが、当該ホストサービスに付随するサポートサービスは、該当ホストサービスのサービス説明ドキュメントの詳述に沿って受けることができます。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー（いずれか該当するもの）にお問い合わせください。

ホストサービス

以下はお客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー（該当する場合）よりホステッドサービスサブスクリプションをご購入した場合にのみ適用されます。ホステッドサービス利用規約は Avaya Web サイト <https://support.avaya.com/licenseinfo> の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」（Avaya ホステッドサービス利用規約）または Avaya の指定する後継サイトに記載されており、Avaya ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用するすべてのユーザーに適用されます。ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用する、あるいは他者にアクセスまたは利用を許可することで、お客様は、お客様ご自身ならびにお客様が代理となってこれらの行為を行う団体（以下、状況に応じて適宜「お客様」および「エンドユーザー」）を代表し、利用規約に同意するものとみなされます。お客様が会社またはその他法人を代表して利用規約に同意した場合、お客様は当該団体を利用規約に従わせる権限を有する場合を表明したことになります。そのような権限をお持ちでない場合、または利用規約に同意することを希望しない場合、お客様はホステッドサービスにアクセスしたり当該サービスを利用したりすることはできず、他者にホステッドサービスへのアクセスまたは利用を許可することもできません。

著作権

別段に明記される場合を除き、Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホストサービス、ハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービス、製品（コンテンツの選択、配置、デザインを含む）の所有権は Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作権法や他の知的財産権法（データベース保護に関する独自の権利を含む）によって保護されています。Avaya による明示的な許可がない限り、内容の全部または一部（コードやソフトウェアを含む）を、手法を問わず、修正、模写、複製、再版、アップロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面による明示的な同意なく、これらを複製、転送、配布、保存、使用することは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合があります。

サードパーティコンポーネント

「サードパーティコンポーネント」とは、ホステッドサービスに含まれる特定のソフトウェアプログラムまたはその一部に、サードパ

ーティ契約にもとづいて配布されるソフトウェア（オープンソースソフトウェアを含む）を意味します（以下、「サードパーティコンポーネント」）。この契約には、ソフトウェアの特定部分についての使用権に関する条項（以下、「サードパーティ条項」）が含まれます。適用されるサードパーティ条項は、製品、ドキュメント、Avaya の Web サイト (<https://support.avaya.com/Copyright>) または Avaya によって指定された後継サイトでご覧いただけます。

サービスプロバイダ

次の規定は、AVAYA チャネルパートナーによる AVAYA 製品またはサービスのホスティングに適用されます。製品またはホストサービスでは、サードパーティコンポーネントを使用する場合がありますが、こうしたコンポーネントにはサードパーティの契約条項が適用され、サービスプロバイダはサードパーティのサプライヤから直接、ライセンスを別途取得する必要があります。AVAYA チャネルパートナーによる AVAYA 製品のホスティングは、AVAYA によって書面で承認される必要があります。ホスト製品にサードパーティのソフトウェア（MICROSOFT のソフトウェアやコーデックを含みますが限定されません）が含まれているか組み込まれている場合、AVAYA チャネルパートナーは、自己の費用負担により、必要なライセンス契約を該当するサードパーティサプライヤから別途取得する必要があります。

コーデックについて、Avaya のチャネルパートナーが H.264 または H.265 コーデックを使用する製品をホスティングしている場合、当該パートナーは、自己がすべての関連手数料およびロイヤリティに責任を負うことを認識し、同意します。H.264 (AVC) コーデックは、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(I) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (II) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。H.264 (AVC) codec および H.265 (HEVC) codec の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 <http://www.mpegla.com> を参照してください。

法令遵守

お客様は、Avaya 製品が使用される国または法域で適用される法律および規制（通話記録、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正、演奏権に関する法律および規制を含みますが、これらに限定されません）を遵守する自己の責任を認識し、これに同意します。

不正利用を防止するために

「不正使用」とは、お客様の電話通信システムへの利用に際して正規の認可を受けていない当事者（例えば、貴社の従業員、エージェント、下請け業者、または貴社の代理人以外）が通信システムを不正に使用することを意味します。お客様のシステムに関連した不正利用のリスクがあるということ、さらに不正利用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya 通信不正利用防止ライン

米国およびカナダに在住するお客様は、不正利用の被害にあっている疑いを抱き、技術的な支援またはサポートを必要とする場合、Technical Service Center Toll Fraud Intervention Hotline (Tel: +1-800-643-2353) へお電話でご連絡ください。その他のサポートの電話番号については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

セキュリティ脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーに関する情報は、<https://support.avaya.com/security> の「Security Policies and Support」セクションに記載されています。

Avaya 製品の疑わしいセキュリティ脆弱性は、Avaya 製品セキュリティサポートフロー (<https://support.avaya.com/css/P8/documents/100161515>) に従って処理されます。

商標

本サイトおよび Avaya 提供の文書、ホステッドサービス、製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク（以下、「マーク」）は、Avaya およびその関連会社、ライセンサー、サプライヤ、もしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザーは、Avaya またはマークを所有している可能性があるサードパーティの書面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできません。本サイト、ドキュメント、ホストサービス、および製品には、Avaya または該当するサードパーティの明確な同意なく、マ

ークのライセンスまたは権利を黙示、禁反言などにより付与する内容は一切含まれないものとします。

Avaya は、Avaya LLC の登録商標です。

Avaya 以外のすべての商標は、それぞれの所有者に所有権があります。

Linux[®] は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ドキュメントのダウンロード

ドキュメントの最新版については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

Avaya サポートの連絡先

製品またはホステッドサービスの案内や記事を確認したり、Avaya 製品またはホステッドサービスに関する問題を報告したりするには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) を参照してください。サポートの電話番号およびお問い合わせ先については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトにアクセスし、ページの下までスクロールして、[Contact Avaya Support] を選択してください。

目次

第 1 章: はじめに	7
目的.....	7
変更履歴.....	7
第 2 章: Device Enrollment Services の概要	8
新機能.....	9
Device Enrollment Services のアカウントタイプ.....	9
デバイスのプロビジョニングワークフロー.....	10
第 3 章: Device Enrollment Services Web ポータルにアクセスする	12
Device Enrollment Services アカウントにサインアップする.....	12
Device Enrollment Services Web ポータルにログインする.....	13
パスワードをリセットする.....	14
二要素認証を使用して Device Enrollment Services にアクセスする.....	14
Device Enrollment Services ダッシュボードの使い方.....	15
Device Enrollment Services Web ポータルからログアウトする.....	15
第 4 章: 一般設定	16
バージョン情報を表示する.....	16
ヘルプ情報にアクセスする.....	16
オンラインヘルプの言語を変更する.....	17
Device Enrollment Services パスワードポリシーを表示する.....	17
電子メール通知設定を管理する.....	18
電子メール通知の説明.....	18
デバイスのロックアウト設定.....	19
第 5 章: プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services	20
Avaya J100 シリーズ IP 電話 と Avaya Vantage TM のファイルテンプレートを設定する.....	20
Avaya J100 シリーズ IP 電話 と Avaya Vantage TM のファイルのアップグレード.....	21
第 6 章: ファームウェア管理	22
デバイスモデルのファームウェアバージョンを更新する.....	22
Device Enrollment Services のファームウェアマネージャフローチャート.....	24
第 7 章: プロファイル管理	25
プロビジョニングサーバーのセットアップ.....	25
プロビジョニングサーバーの証明書のガイドライン.....	25
Avaya 証明書の生成.....	25
プロビジョニング URL の形式.....	26
プロファイルを追加する.....	27
プロファイルを更新する.....	28
プロファイルを削除する.....	29
第 8 章: 会社アカウント	30
会社アカウント管理.....	30
販売代理店アカウントを追加する.....	30
カスタマーアカウントを追加する.....	31
アカウントを有効または無効にする.....	33
アカウントを更新する.....	33

アカウントを削除する.....	37
アカウントのヒエラルキを表示する.....	37
デバイスのファームウェアのアップグレードを有効または無効にする.....	38
二要素認証を有効にする.....	38
Application Programming Interface (API) を要求する.....	39
管理ユーザーの管理.....	39
アカウント管理者を追加する.....	39
アカウント管理者を更新する.....	40
アカウント管理者を削除する.....	41
サイト管理.....	41
アカウントを検索する.....	41
アカウントに関連付けられたプロフィールを設定する.....	42
登録コード.....	43
プロフィールの一括関連付け.....	47
アカウントのリンク.....	48
アカウントリンクの要求を送信する.....	48
リンクの要求を承認する.....	49
第 9 章: ラベル管理	50
新規ラベルを作成する.....	50
デバイスとラベルを関連付ける.....	50
デバイスのラベルの関連付けを解除する.....	51
ラベルを削除する.....	51
第 10 章: デバイス管理	52
デバイスをインポートする.....	52
デバイスを一括で要求、アクティブ化、関連付け、関連付け解除、解除する.....	53
ジョブの詳細を表示する.....	54
[デバイスのジョブ詳細] 検索オプション.....	54
ジョブの詳細をエクスポートする.....	55
少数のデバイスに対する管理操作.....	56
デバイスを要求する.....	56
デバイスを販売代理店アカウントに関連付ける.....	56
デバイスをカスタマーサイトに関連付ける.....	57
デバイスの関連付けを解除する.....	57
デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する.....	58
デバイスを解除する.....	58
追加列を表示する.....	59
デバイスの詳細のエクスポート.....	59
一括操作のすべてのデバイスを選択する.....	60
デバイス情報を検索する.....	60
第 11 章: ファームウェアのバージョンとログ	62
ファームウェアバージョンを表示する.....	62
ログを表示する.....	62
[ログビューア] 検索オプション.....	63
監査ログをエクスポートおよびダウンロードする.....	64
第 12 章: RingCentral デバイス管理による Avaya Cloud Office™	65
Avaya Cloud Office™ 同期操作の概要.....	65

ACO 同期操作.....	66
ACO 対応デバイスを ACO システムと同期する.....	67
Avaya Cloud Office™ (ACO) 製品 ID を表示する.....	68
Avaya Cloud Office™ (ACO) 対応デバイスのファームウェアバージョンを選択する.....	68
第 13 章: アカウントを切り替える	69
Avaya 管理者にアカウントの切り替え要求を送信する	69
販売代理店アカウントに切り替える.....	69
第 14 章: リソース	71
ドキュメント.....	71
Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索.....	71
Avaya ドキュメントセンター のナビゲーション.....	72
サポート.....	73
Avaya InSite Knowledge Base を使用する.....	73
付録 A: サポートされるデバイスと機能	75
Avaya J100 シリーズ IP 電話.....	75
Avaya Vantage™ 電話.....	76
その他のデバイス.....	77
デバイス登録機能の説明.....	78

第 1 章: はじめに

目的

本ドキュメントでは、Device Enrollment Services Web ポータルを使用してエンドポイントまたはデバイスを管理する方法について説明します。このドキュメントは、主に外部のユーザーを対象としています。サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマーのタスクに焦点を当てています。Avaya のサポート担当者が実施するタスクについては詳しく説明していません。

Device Enrollment Services サーバーは、Avaya によってインストールされ、管理されます。そのため、本ドキュメントではこの情報については説明しません。

関連リンク

[Device Enrollment Services のアカウントタイプ](#) (9 ページ)

変更履歴

このセクションでは、本ドキュメントの主な変更内容について説明します。

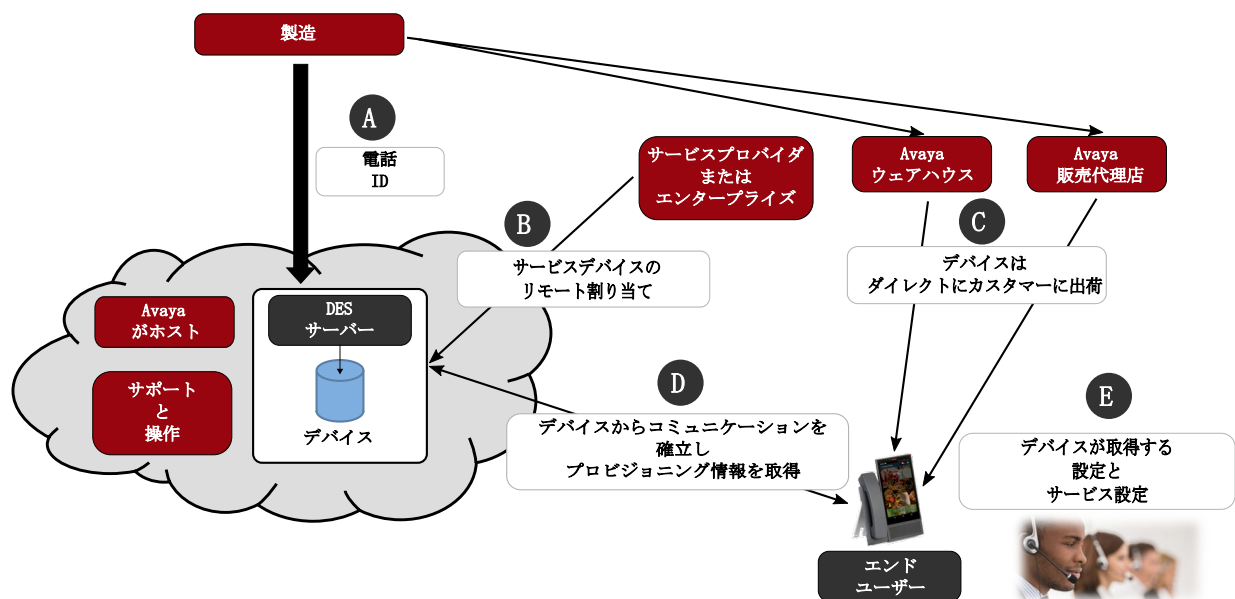
発行	日付	変更内容
リリース 3.1.41、第 39 版	2023 年 12 月	基盤となるコンポーネントをアップグレードし、システムの安定性とセキュリティを強化
リリース 3.1.40、第 38 版	2023 年 11 月	プラットフォームの改善とインフラストラクチャの強化
リリース 3.1.39、第 38 版	2023 年 11 月	セキュリティアップデート

第 2 章: Device Enrollment Services の概要

Device Enrollment Services は、Avaya エンドポイントをセキュアに認証し、ファイルサーバーにリダイレクトするためのメカニズムを提供します。Device Enrollment Services は、プロビジョニングサーバーの検出を簡素化および自動化することで、既定のデバイスの展開に伴うコストを削減します。

Device Enrollment Services Web ポータルを使用してデバイスやプロファイルなどの設定をセットアップおよび管理します。デバイス製造メーカーは、証明書情報、MAC アドレス、シリアル番号などのデバイスの詳細を入力することでプロセスを開始できます。詳細は、ファイルを介して Device Enrollment Services サーバーにインポートされます。これにより、Device Enrollment Services でデバイスを認証することが可能になります。

サービスプロバイダまたはエンタープライズ管理者は、Device Enrollment Services にログインして顧客情報とプロビジョニング設定を構成できます。エンドユーザーまたは管理者がデバイスをネットワークに接続すると、デバイスは Device Enrollment Services にセキュアな接続を確立します。Device Enrollment Services では、ファイルサーバーアドレスとオプションで新しいファームウェアと設定データに関する情報がデバイスに提供されます。



新機能

リリース 3.1.41 の主な機能：

- ・ 基盤となるコンポーネントをアップグレードし、システムの安定性とセキュリティを強化

リリース 3.1.40 の主な機能：

- ・ プラットフォームの改善とインフラストラクチャの強化

リリース 3.1.39 の主な機能：

- ・ セキュリティアップデート

★ 注

このバージョンで導入された新機能またはアップデートを表示するには、画面の右上にあるユーザー名のメニューに移動し、[新機能] をクリックします。

Device Enrollment Services のアカウントタイプ

アカウントは、デバイスの登録プロセスに関与する顧客または会社を表します。Device Enrollment Services の基本的なアカウントタイプは次のとおりです。

- ・ サービスプロバイダ
- ・ 販売代理店
- ・ カスタマー

サービスプロバイダアカウント

このアカウントは、通信サービスと機器を販売代理店または顧客に提供する会社用のアカウントです。サービスプロバイダ管理者は次のことができます。

- ・ 販売代理店アカウントを作成する。
- ・ カスタマーアカウントを作成する。
- ・ カスタマーサイトとプロフィールを追加する。
- ・ 販売代理店およびカスタマーアカウントを有効または無効にする。
- ・ サイト管理を実施し、登録コードを作成する。
- ・ デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する。
- ・ デバイスを要求または解除する。

販売代理店アカウント

このアカウントは、通信機器を顧客に提供する会社用のアカウントです。販売代理店管理者には、サービスプロバイダとほぼ同じ権限があります。販売代理店は次を行えます。

- ・ カスタマーアカウントを作成したり、有効または無効にする。
- ・ カスタマーサイトとプロフィールを追加する。
- ・ サイト管理を実施し、登録コードを作成する。
- ・ デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する。

- デバイスを要求または解除する。

販売代理店管理者は販売代理店アカウントを作成できません。

カスタマーアカウント

このアカウントは、デバイスが登録されるカスタマーサイトを表します。カスタマーは次を行います。

- 自分のアカウントを編集する。
- カスタマーサイトとプロフィールを追加する。
- 自分のカスタマーサイトのサイト管理を実施し、登録コードを作成する。
- デバイスを自分のプロフィールとサイトに関連付ける。
- デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する。
- デバイスを要求または解除する。

デバイスのプロビジョニングワークフロー

次の表に、Device Enrollment Services Web ポータルでデバイス登録を有効にするために実行するタスクを示します。

タスク	このタスクを実行するために必要な役割	関連セクション
Device Enrollment Services にログインします。	すべてのユーザー	Device Enrollment Services Web ポータルにログインする (13 ページ).
プロフィールを作成する。	サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマー	プロフィールを追加する (27 ページ).
カスタマーアカウントとカスタマーサイトを作成し、それを適切なプロフィールに関連付ける。	サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマー	カスタマーアカウントを追加する (31 ページ).
デバイスをインポートする。	製造メーカー	デバイスをインポートする (52 ページ).

次のページに続く...

タスク	このタスクを実行するために必要な役割	関連セクション
登録コードを使用して、または使用しないでデバイスを登録します。登録コードなしの登録は、ゼロタッチプロビジョニングと呼ばれます。 登録コードを使用した登録では、8桁または12桁の登録コードを使用できます。デバイスユーザーが間違ったコードを3回以上入力すると、デバイスが非アクティブになります。そのデバイスを登録する前に再アクティブ化する必要があります。 ゼロタッチプロビジョニングでは、次が必要です。 1. デバイスを要求する 2. デバイスをカスタマーサイトに関連付ける。 3. 登録のためにデバイスをアクティブ化する。	サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマー	登録コードを使用する場合は、「登録コード (43 ページ)」を参照してください。 ゼロタッチプロビジョニングでは、次を参照してください。 1. デバイスを要求する (56 ページ). 2. デバイスをカスタマーサイトに関連付ける (57 ページ). 3. デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する (58 ページ). デバイスを一括して管理する場合は、「デバイスを一括で要求、アクティブ化、関連付け、関連付け解除、解除する (53 ページ)」を参照してください。

デバイスと Device Enrollment Services との相互作用については、次のドキュメントを参照してください。

- Avaya Vantage™ の場合：Avaya Vantage™ の「Device Deployment through Device Enrollment Services」(Device Enrollment Services を使用したデバイスの導入) *Installing and Administering Avaya Vantage™ in an Avaya Aura® or IP Office Environment* と *Installing and Administering Avaya Vantage™ in an Open SIP Environment*.
- Avaya J100 シリーズ IP 電話 の場合：の「Phone installation process」(電話機のインストール手順) の各セクション *Installing and Administering Avaya J100 Series SIP IP Phones in Avaya Aura®*.

第 3 章: Device Enrollment Services Web ポータルにアクセスする

Device Enrollment Services アカウントにサインアップする

このタスクについて

アカウントを持っていない場合は、サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマーのアカウントを要求できます。サービスプロバイダまたは販売代理店がカスタマーアカウントを作成する場合、そのアカウントで Device Enrollment Services にログインすることはできません。Device Enrollment Services にログインするには、新しいカスタマーアカウントにサインアップする必要があります。既存のアカウントがあり、新しいアカウントにサインアップする場合、既存のアカウントと新しいアカウントはリンクされていません。

要求を送信すると、Avaya 管理者が提供された情報を確認し、要求を承認または拒否します。管理者が要求を承認すると、確認メールが届きます。

手順

1. Web ブラウザで、<https://des.avaya.com> に移動し、Device Enrollment Services Web ポータルの [ログイン] ページにアクセスします。
2. (オプション) 画面の右上隅で、リストから使用する言語を選択します。
3. [こちらをクリックしてアクセスを要求] をクリックします。

Device Enrollment Services に [Device Enrollment Services アカウントにサインアップ] ページが表示されます。

4. [会社情報] セクションの [Avaya との関係] フィールドから、該当するアカウントをクリックします。

サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマーアカウントを要求できます。

5. 以下のいずれかを行います。
 - サービスプロバイダまたは販売代理店アカウントを要求する場合、[BP リンク ID] フィールドに、アカウントの Avaya ビジネスパートナー ID を入力します。
 - カスタマーアカウントを要求する場合、[SAP 顧客番号/機能ロケーション (FL)] フィールドに、アカウントの数値 ID を入力します。
6. [会社名] フィールドに、会社の名前を入力します。
7. [連絡先情報] セクションで、次を行います。
 - a. 自分の氏名、勤務先電話番号、勤務先電子メールアドレスを入力します。
ここで入力した勤務先電子メールアドレスは、ログイン名として使用されます。

- b. [ユーザーロケール] で、Device Enrollment Services Web ポータルで使用する言語を選択します。
8. [会社の住所] セクションに、会社の住所を入力します。
9. [追加情報] フィールドに、管理者がアクセスを許可するかどうか判断できるように追加情報を入力します。
例：Device Enrollment Services へのアクセスが必要な理由は何ですか？
10. [Avaya の利用規約に同意します] チェックボックスをオンにします。
11. [アクセスの要求] をクリックします。

関連リンク

[Device Enrollment Services のアカウントタイプ](#) (9 ページ)

Device Enrollment Services Web ポータルにログインする

このタスクについて

Device Enrollment Services Web ポータルにログインし、自分のアカウントタイプで有効になっている機能にアクセスします。

次のブラウザの最新バージョンを使用します。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge
- Safari

手順

1. ブラウザで、<https://des.avaya.com> に移動し、Device Enrollment Services Web ポータルの [ログイン] ページにアクセスします。
2. (オプション) 画面の右上隅で、リストから Device Enrollment Services Web ポータルで使用する言語を選択します。
3. 次のいずれかを行ってログインします。
 - [ユーザー名] および [パスワード] フィールドにアカウントの資格情報を入力し、[ログイン] をクリックします。
パスワードを忘れた場合は、「[パスワードをリセットする](#) (14 ページ)」を参照してください。
 - [Avaya-SSO] をクリックしてから、電子メールアドレスとパスワードを入力します。
ユーザー ID 証明書がブラウザにインポートされている場合は、プロンプトが表示されたら証明書を選択して、[OK] をクリックしてから [続行] をクリックします。
正常に認証するには、証明書の共通名がユーザーのログイン名と一致している必要があります。

次のステップ

お使いのアカウントで二要素認証が有効になっている場合は、コードを入力しないと Device Enrollment Services にアクセスできません。詳しくは、「[二要素認証を使用して Device Enrollment Services にアクセスする](#) (14 ページ)」を参照してください。

パスワードをリセットする

手順

1. Device Enrollment Services ログインページで、[パスワードを忘れた場合] をクリックします。
2. ユーザー名を入力して、[送信] をクリックします。
3. 受信トレイでパスワードのリセットメールを確認します。
4. メールに記載された URL をクリックします。
リンクは 5 分で期限切れになります。
5. 新しいパスワードを入力します。
6. 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。
7. [送信] をクリックします。

二要素認証を使用して Device Enrollment Services にアクセスする

このタスクについて

二要素認証では、2 番目の要素としてワンタイムパスワード (OTP) を使用することで、アカウントのセキュリティを強化します。二要素認証はオプション機能で、デフォルトでは無効になっています。

二要素認証が有効になっている場合は、最初のログイン後に、モバイル認証システムの設定でアカウントをアクティブにするように求められます。その後のログインでは、OTP コードを入力して Device Enrollment Services にアクセスする必要があります。モバイルデバイスは OTP 認証にのみ必要になります。コンピュータを使用して Device Enrollment Services インターフェイスにアクセスする必要があります。

手順

1. モバイル認証システムでアカウントをアクティブにするように設定するには、モバイルデバイスに次のいずれかのアプリケーションをインストールします。
 - 無料の OTP
 - Google 認証システム
 - Authy
2. アプリケーションを開き、バーコードをスキャンします。
手順 1 と 2 は 1 回限りのタスクです。

3. モバイルアプリケーションに表示されているコードを入力します。

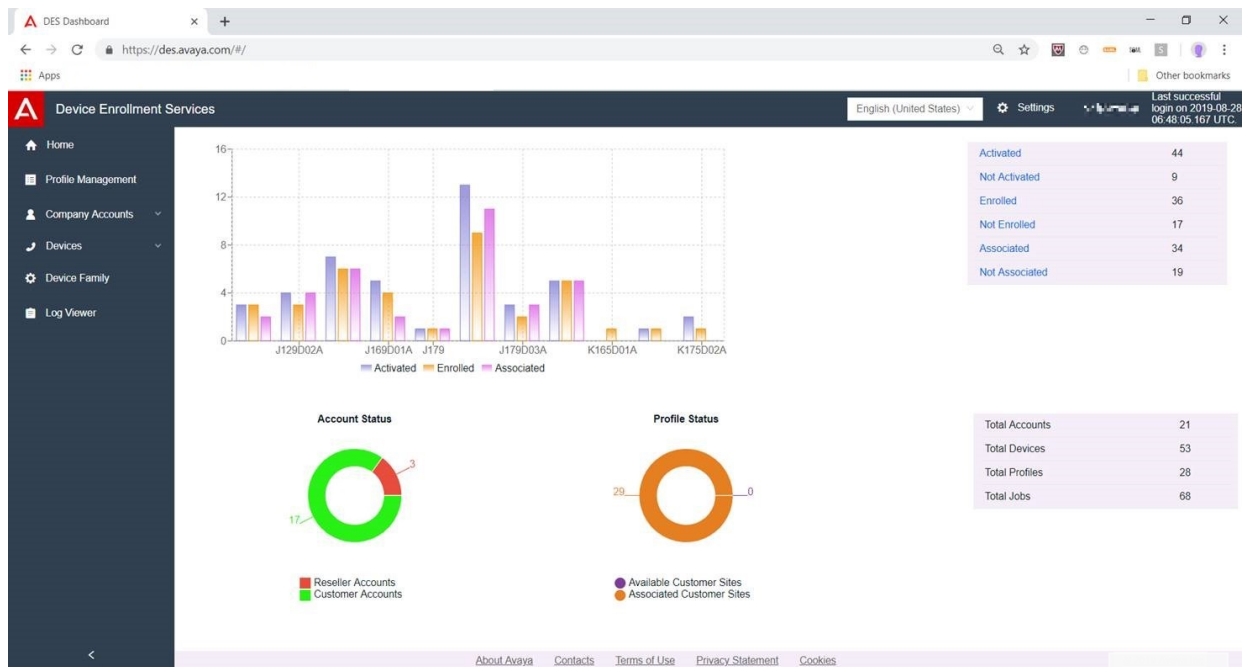
Device Enrollment Services にアクセスするには、ログイン時に常時この手順を実行する必要があります。

4. [送信] をクリックします。

Device Enrollment Services ダッシュボードの使い方

Device Enrollment Services にログインすると、アカウント、デバイス、プロファイル、インポートされたファイルに関する統計情報を含む、デフォルトのダッシュボードが表示されます。ダッシュボードで使用可能なチャート数は、アカウントタイプによって異なります。上部のバーの [ホーム] をクリックすると、ダッシュボードにアクセスできます。

次に、サービスプロバイダアカウントのダッシュボードの例を示します。



Device Enrollment Services Web ポータルからログアウトする

このタスクについて

Device Enrollment Services Web ポータルからログアウトしてセッションを終了し、システムへの不正アクセスを防止します。

手順

1. 画面の右上にあるユーザー名のメニューに移動します。
2. オプションのリストから、[ログアウト] をクリックします。

第 4 章: 一般設定

本章では、次の方法について説明します。

- 一般情報とヘルプへのアクセス
- 設定の管理

バージョン情報を表示する

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、画面の右上にあるユーザー名のメニューに移動します。
2. [詳細情報] をクリックして現在の Device Enrollment Services バージョンを表示します。

ヘルプ情報にアクセスする

このタスクについて

Device Enrollment Services Web 管理ポータルでは、このドキュメントのオンラインヘルプバージョンに簡単にアクセスできます。ドキュメントは新しいタブで開きます。

手順

Device Enrollment Services Web 管理ポータルでヘルプ情報にアクセスするには、次のいずれかを実行します。

- a. 青色の [ヘルプ] リンクをクリックします。このリンクはほとんどの画面にあります。
このリンクをクリックすると、ドキュメントの該当するセクションにリダイレクトされます。そのため、必要な情報がすぐに見つかります。
- b. 画面の右上にあるユーザー名のメニューから、[ヘルプ] をクリックします。
このオプションは、画面に直接 [ヘルプ] リンクが表示されていない場合に使用できます。その後、ドキュメントの該当するセクションに移動できます。

オンラインヘルプの言語を変更する

手順

1. Avaya ドキュメントポータルで、画面の右上隅にある  をクリックします。
2. 次のいずれかのサポート対象言語を選択します。
 - 英語
 - フランス語
 - イタリア語
 - ドイツ語
 - ロシア語
 - 中国語（中国）
 - 日本語
 - 韓国語
 - スペイン語
 - ポルトガル語（ブラジル）

Device Enrollment Services パスワードポリシーを表示する

このタスクについて

パスワードポリシーでは、パスワードの複雑さの必要条件を定義します。パスワードポリシーは、カスタマー、販売代理店、サービスプロバイダが Device Enrollment Services Web ポータルへのアクセスに使用するすべてのパスワードに適用されます。カスタマー、販売代理店、サービスプロバイダとしてパスワードポリシーを編集することはできません。Avaya 管理者のみがアクセスしてパスワードポリシーを定義できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[設定] > [パスワードポリシー] に移動します。

Device Enrollment Services に [パスワードポリシー設定] 画面が読み取り専用モードで表示されます。
2. 次のパスワードポリシーオプションを表示できます。
 - [パスワードの有効期限]
 - [特殊文字]
 - [使用禁止の直近パスワード（回）]
 - [大文字]
 - [小文字]

- [最小文字数]
- [ユーザー名の使用禁止]
- [数字]

電子メール通知設定を管理する

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[設定] > [電子メール通知設定] をクリックします。
2. 各設定の横にある [オン] / [オフ] スイッチを使用して電子メール通知を有効または無効にします。

デフォルトでは、すべての通知設定が有効になっています。通知設定を無効にするには、スイッチを [オフ] に設定します。
3. [送信] をクリックして変更を保存します。

電子メール通知の説明

次の表では、Device Enrollment Services Web 管理ポータルの電子メール通知設定について説明します。

設定	電子メール通知の目的
登録コードの使用	デバイスのユーザーがいつ登録コードを入力したかを会社およびユーザー管理者に知らせます。
プロビジョニングの変更	プロビジョニング URL がいつ変更されたかを示します。
デバイスの要求	要求されたデバイスに関する情報を提供します。
デバイスの関連付け	デバイスがいつアカウントまたはカスタマーサイトに関連付けられたかを示します。
デバイスの登録の失敗	デバイスの登録が失敗したことを会社の管理者に知らせます。失敗の理由も電子メールに記載されます。
ユーザーパスワードのリセット	パスワードが変更されたことをユーザーに知らせます。
アカウントのリンク	アカウントがリンクされたときにサービスプロバイダと販売代理店に知らせます。
登録コードの操作	サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマーの管理者に、登録コードが生成、再生成、削除されたこと、または登録コードが期限切になったことを通知します。
デバイス証明書の生成	Avaya デバイスルート認証局 (CA) から ID 証明書が正常に生成されたかどうかをユーザーに通知します。
ファームウェアアップグレードリダイレクト	デバイスがアップグレードされたファームウェアバージョンにリダイレクトされることをユーザーに通知します。
デバイスプロビジョニングリダイレクト	デバイスがプロビジョニングのためにリダイレクトされることをユーザーに通知します。

デバイスのロックアウト設定

Avaya 管理者はデバイスのロックアウト設定を設定できます。デバイスのユーザーが間違っ
た登録コードを複数回入力すると、デバイスはデバイスのロックアウトの最大試行回数設定に
基づいてロックアウトされます。Avaya 管理者は [設定] > [デバイスのロックアウト設定]
で次の設定を設定できます。

- [デバイスのロックアウト時間] : デバイスがロックアウトされる時間 (分)。
- [無効な登録コードの最大試行回数] : デバイスユーザーがロックアウトされるまでに間違
った登録コードを入力できる回数。

これらの設定は変更できません。読み取り専用形式でのみ利用が可能です。

デバイスがロックアウトされている場合、デバイスを手動でアクティブ化するか、ロックアウ
ト時間が経過するまで待つ必要があります。

関連リンク

[登録コード](#) (43 ページ)

第 5 章: プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services

プロファイルの追加時に、Device Enrollment Services をプロビジョニングサーバーとして使用できます。これを行うには、[プロビジョニング URL] フィールドに `https://des.avaya.com` を入力します。[サーバータイプ] から、[DES] を選択します。

Device Enrollment Services をプロビジョニングサーバーとして使用する場合は、カスタマーアカウントの作成時に基本デバイス設定の zip ファイルをアップロードします。zip ファイルには.xml、.png、.jpg、.jpeg、.gif、.bmp、.mp3、.wav、.ogg、.pkcs12、.p12、.pfx、.txt ファイルを使用できます。例えば、zip ファイルには 46xxsettings.txt ファイルと J100Supgrade.xml や K1xxSupgrade.xml などのアップグレードファイルを含めることができます。またオプションで 46xxsettings.txt ファイルの TRUSTCERTS パラメータから証明書を含めることもできます。設定とアップグレードファイル名では大文字と小文字が区別されます。

関連リンク

[Avaya J100 シリーズ IP 電話 と Avaya Vantage のファイルのアップグレード](#) (21 ページ)

[プロファイルを追加する](#) (27 ページ)

[カスタマーアカウントを追加する](#) (31 ページ)

Avaya J100 シリーズ IP 電話 と Avaya Vantage™ のファイルテンプレートを設定する

Device Enrollment Services をプロビジョニングサーバーとして機能させるには、ファイル名を 46xxsettings.txt にする必要があります。

次は 46xxsettings.txt の Avaya J100 シリーズ IP 電話 ファイルからの抜粋です。

```
SET ADMIN_PASSWORD 13579
SET SIP_CONTROLLER_LIST "135.12.345.670:5061;transport=tls"
SET TIMEZONE "America/New_York"
SET TRUSTCERTS "prod-sip-ca.crt"
SET SIPDOMAIN "avaya.com"
```

次は 46xxsettings.txt の Avaya Vantage™ ファイルからの抜粋です。

```
SET ADMIN_PASSWORD 13579
SET ACTIVE_CSDK_BASED_PHONE_APP "com.avaya.android.vantage.basic"
SET SIP_CONTROLLER_LIST "135.12.345.670:5061;transport=tls"
SET TIMEZONE "America/New_York"
SET TRUSTCERTS "prod-sip-ca.crt"
SET SIPDOMAIN "avaya.com"
```

パラメータを更新するには、次のリンクを参照してください。

- Avaya J100 シリーズ IP 電話 : https://support.avaya.com/downloads/download-details.action?contentId=C201773928555860_8&productId=P1661
- Avaya Vantage™ : https://support.avaya.com/downloads/download-details.action?contentId=C201773928555860_8&productId=P1644

Avaya J100 シリーズ IP 電話 と Avaya Vantage™ のファイルのアップグレード

次は Avaya J100 シリーズ IP 電話 の J100Supgrade ファイルからの抜粋です。

```
IF $MODEL4 SEQ J129 GOTO J129_SW
IF $MODEL4 SEQ J139 GOTO J139_SW
IF $MODEL4 SEQ J169 GOTO J169_SW
IF $MODEL4 SEQ J179 GOTO J179_SW

GOTO GETSET

# J129_SW
GOTO GETSET

# J139_SW
GOTO GETSET

# J169_SW
GOTO GETSET

# J179_SW
GOTO GETSET

# GETSET
GET 46xxsettings.txt
```

次は Avaya Vantage™ の K1xxSupgrade ファイルからの抜粋です。

```
IF $MODEL4 SEQ K155 GOTO K155SW
IF $MODEL4 SEQ K165 GOTO K175SW
IF $MODEL4 SEQ K175 GOTO K175SW
GOTO GETSET

# K155SW
GOTO GETSET

# K175SW
GOTO GETSET

# GETSET
GET 46xxsettings.txt
```

関連リンク

[プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services \(20 ページ\)](#)

第 6 章: ファームウェア管理

カスタマーは、特定のデバイスモデルのファームウェアアップグレードをオフにしたり、デバイスを最新のファームウェアバージョンにアップグレードしたり、デバイスモデルの以前の 5 つのファームウェアバージョンからファームウェアバージョンを選択したりできます。

デバイスモデルのファームウェアバージョンを更新する

このタスクについて

要求したデバイスのファームウェアバージョンを管理できます。これにより、特定のデバイスにダウンロードするファームウェアとダウンロードするタイミングを制御できます。ファームウェアは会社アカウント単位で管理できます。要求されていないデバイスは、Device Enrollment Services へのコンタクト時に最新のファームウェアバージョンに自動的にアップグレードされます。

* 注

Device Enrollment Services をプロビジョニングサーバーとして使用する場合は、[ファームウェア管理] 機能をいつでも使用できます。デバイスを Device Enrollment Services 以外の別のファイルサーバーにリダイレクトする場合、[ファームウェア管理] 機能は、事前に要求されているデバイスが Device Enrollment Services に初めて接続される場合にのみ適用されます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - 新しいカスタマーアカウントを追加し、基本詳細とサイト詳細を入力します。
 - アカウントを更新するには、リストからカスタマーアカウントを選択して [編集] をクリックします。
3. [サイト] タブで、[ファームウェア設定] をクリックします。

* 注

[アップロード設定] オプションは、<https://des.avaya.com> をプロビジョニングサーバーとして追加した場合にのみ有効になります。

4. [ファームウェア設定] タブで、ファームウェアバージョンをアップデートするデバイスモデルの  をクリックし、[編集] をクリックします。

5. [ファームウェアバージョン] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。

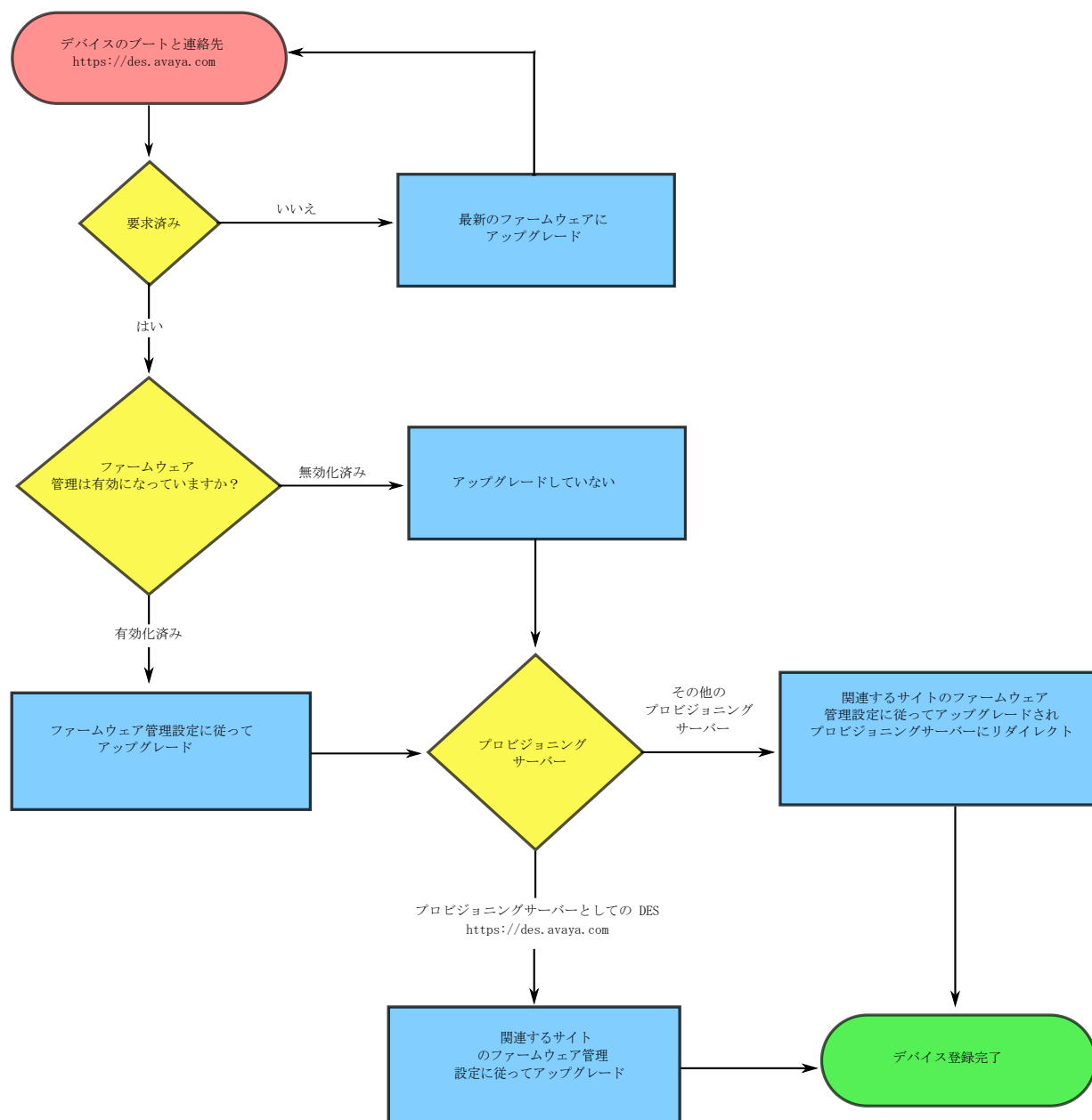
- アカウントと同じ（デフォルト）
- 最新
- オフ
- デバイスモデルのリリースから

*** 注**

デフォルトでは、デバイスモデルの最新の 10 リリースを使用できます。Avaya 管理者は各デバイスモデルのリリースの数を制御します。Device Enrollment Services はファームウェアバージョンが 30 日以内に削除されることをユーザーにアラートします。Device Enrollment Services は [ファームウェアバージョン] フィールドを 30 日後に最新の状態に設定します。

6. ✓ をクリックして変更を保存します。

Device Enrollment Services のファームウェアマネージャ フローチャート



第 7 章: プロファイル管理

プロファイルは、1 つ以上のカスタマーサイトに関連付けられ、プロビジョニングサーバーへのリンクを含んでいます。サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマーは、プロファイルの管理タスクを実行できます。

プロビジョニングサーバーのセットアップ

デバイスの設定ファイルを保存するにはプロビジョニングサーバーが必要です。プロビジョニングサーバーは、HTTP または HTTPS プロトコルを使用できます。

プロビジョニングサーバーの証明書のガイドライン

HTTPS プロトコルとプライベート認証局でプロビジョニングサーバーを使用している場合は、その認証局のルート証明書をアップロードします。パブリック認証局を使用している場合は、ルート証明書をアップロードする必要はありません。[プロファイル管理] セクションから証明書をアップロードできます。この証明書は、デバイスとプロビジョニングサーバー間でセキュアな接続を確立するために使用されます。

❗ 重要

Device Enrollment Services ではワイルドカードの FQDN を含む証明書を使用できないデバイスもあるため、証明書に明示的な FQDN を使用することをお勧めします。(例: *.domain.com)。

セキュアでないプロビジョニング URL

新しい Avaya Vantage™ および Avaya J100 シリーズ IP 電話 では、セキュアでない HTTP 接続が許可されます。ここでは証明書は必要ありません。HTTP を含むプロビジョニング URL の例は、<http://192.168.10.87> や <http://provisioning.avaya.com> (DNS が使用可能な場合) などです。

Avaya 証明書の生成

デバイスとプロビジョニングサーバー間でセキュアな接続を確立するために、公開鍵基盤 (PKI) ID 証明書が使用されます。この証明書は、プロビジョニングサーバーが相互認証でセキュアな HTTPS 接続を使用する場合に必要です。デバイスは Device Enrollment Services から証明書を受信します。

Avaya 証明書の生成を有効にしている場合、デバイスは Avaya デバイスルート認証局 (CA) から ID 証明書を取得します。Avaya CA が ID 証明書を生成する場合は、デバイスとプロビジョニングサーバー間でセキュアな接続を構築できます。ID 証明書が生成されると、デバイスで

新しい ID 証明書が使用されます。Avaya CA へのリンクは、<https://des.avaya.com/downloads/DeviceEnrollmentServiceRootCA.pem> です。

相互認証の有効化に関する一般情報については、次のリンクを参照してください。

- Windows : <https://blogs.msdn.microsoft.com/asiatech/2014/02/12/how-to-configure-iis-client-certificate-mapping-authentication-for-iis7/>
- XAMPP または Apache : https://httpd.apache.org/docs/2.4/ssl/ssl_howto.html#allclients

関連リンク

[プロビジョニング URL の形式](#) (26 ページ)

[カスタマーアカウントを追加する](#) (31 ページ)

Avaya 証明書作成を有効/無効にする

このタスクについて

証明書の作成はデフォルトで無効になっています。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[プロファイル管理] に移動します。
2. 目的のプロファイルを選択します。
3. [Avaya 証明書作成] 列で、次のいずれかを行います。
 - Avaya 証明書作成を有効にするには、スイッチを右に動かします。
 - Avaya 証明書作成を無効にするには、スイッチを左に移動します。

プロビジョニング URL の形式

次のプロビジョニング URL タイプをプロファイル設定に使用できます。

タイプ	例
https://<FQDN>	https://utilityserver.avaya.com
https://<FQDN>:<ポート>	https://utilityserver.avaya.com:443
https://<FQDN>/<サブディレクトリ>	https://utilityserver.avaya.com/firmware
https://<FQDN>:<ポート>/<サブディレクトリ>	https://utilityserver.avaya.com:443/firmware
http://<FQDN>	http://utilityserver.avaya.com
http://<FQDN>:<ポート>	http://utilityserver.avaya.com:8080
http://<FQDN>/<サブディレクトリ>	http://utilityserver.avaya.com/firmware
http://<FQDN>:<ポート>/<サブディレクトリ>	http://utilityserver.avaya.com:8080/firmware
https://<HOST の IP アドレス>	https://10.10.10.10
https://<HOST の IP アドレス>:<ポート>	https://10.10.10.10:443
https://<HOST の IP アドレス>/<サブディレクトリ>	https://10.10.10.10/firmware
https://<HOST の IP アドレス>:<ポート>/<サブディレクトリ>	https://10.10.10.10:443/firmware

次のページに続く...

タイプ	例
http://<HOST の IP アドレス>	http://10.10.10.10
http://<HOST の IP アドレス>:<ポート>	http://10.10.10.10:
http://<HOST の IP アドレス>/<サブディレクトリ>	http://10.10.10.10/firmware
http://<HOST の IP アドレス>:<ポート>/<サブディレクトリ>	http://10.10.10.10:8080/firmware
http://<FQDN>/<Device_Family>/\$MODEL4	http://utilityserver.avaya.com/J100/\$MODEL4
http://<FQDN>/<Device_Family>/ \$MODEL4/\$MACADDR	http://utilityserver.avaya.com/ J100/\$MODEL4/\$MACADDR
http://<FQDN>/<Device_Family>/ \$MODEL4/\$SERIALNO	http://utilityserver.avaya.com/ J100/\$MODEL4/\$SERIALNO
https://<ユーザー名>:<パスワード>@<FQDN>	https://admin:t0pSecret@utilityserver.avaya.com
https://<ユーザー名>:<パスワード>@<FQDN>/ Directory	https://admin:t0pSecret@utilityserver.avaya.com/ Directory

プロファイルを追加する

このタスクについて

プロファイルは、登録プロセス中のデバイス設定に必要です。プロファイルは、プロビジョニングファイルサーバーの URL、内部証明書、および電話グループを定義します。プロファイルは、複数のカスタマーサイトのプロビジョニングを構成するための共通の場所になります。

プロファイル設定は、すでに登録済みのデバイスには適用されません。

前提条件

- プロビジョニングサーバーが動作しており、適切な設定ファイルが含まれていることを確認します。
- HTTPS プロトコルとプライベート認証局でプロビジョニングサーバーを使用している場合は、その認証局のルート証明書をアップロードします。パブリック認証局を使用している場合は、ルート証明書をアップロードする必要はありません。

手順

1. [プロファイル管理] をクリックします。
2. [追加] をクリックします。
3. [プロファイル名] フィールドに入力します。
4. [追加] をクリックします。
5. [サーバータイプ] フィールドで、次のいずれかを選択します。
 - [DES] : プロビジョニング URL が <https://des.avaya.com> に指定されている場合。
 - その他すべての場合は [HTTPS]。

6. [プロビジョニング URL] フィールドに、デバイス設定ファイルがあるディレクトリへのパスを含む完全な URL を入力します。

プロビジョニング URL を `https://des.avaya.com` に設定した場合は、カスタマーアカウントを作成する際に基本的なデバイス設定情報を含む設定ファイルをアップロードします。

7. (オプション) ID 証明書を生成するには、[Avaya 証明書作成] スイッチを右に動かします。

プロビジョニングサーバーで相互認証が設定されている場合は、デバイスをトリガーして Device Enrollment Services から ID 証明書をインストールできます。プロビジョニングサーバーにルート証明書をダウンロードしてインストールします。

8. (オプション) ルート証明書をダウンロードするには、[Avaya デバイスルート CA] をクリックします。

9. プライベート認証局を使用している場合は、[CA ルート証明書] フィールドで、[ファイルを選択] をクリックしてルート CA 証明書をアップロードします。

10. [電話グループ (0 ~ 999)] フィールドに、デバイスまたは電話グループ番号を入力します。

電話グループ番号は、設定ファイルの一連のパラメータを区別するために使用されます。たとえば、設定ファイルに電話グループ 16 および 17 の設定が含まれていて、このフィールドに 17 を入力した場合は、グループ 17 の設定が登録されたデバイスに適用されます。このフィールドのデフォルト値は 0 です。

11. ✓ アイコンをクリックして変更を保存します。

12. (オプション) プロファイルに複数のプロビジョニング URL を追加するには、[追加] をクリックして、手順 3 から上記の手順を繰り返します。

13. [送信] をクリックしてプロファイルを追加します。

関連リンク

[プロビジョニングサーバーの証明書のガイドライン](#) (25 ページ)

[プロビジョニング URL の形式](#) (26 ページ)

[カスタマーアカウントを追加する](#) (31 ページ)

[Avaya 証明書の生成](#) (25 ページ)

[デバイスをカスタマーサイトに関連付ける](#) (57 ページ)

プロフィールを更新する

このタスクについて

プロフィールを変更した場合、デバイスは登録プロセス中に更新された設定を使用します。

手順

1. [プロフィール管理] をクリックします。
2. 目的のプロファイルを選択します。

3.  をクリックし、[編集] をクリックします。
4. 必要に応じてプロフィール設定を更新し、✓ をクリックします。
5. [送信] をクリックします。

プロフィールを削除する

このタスクについて

あるプロフィールがデバイス登録に必要でなくなった場合は、そのプロフィールを削除します。カスタマーサイトに関連付けられているプロフィールがない場合は、デバイス登録を完了できません。

手順

1. [プロフィール管理] をクリックします。
2. 目的のプロフィールを選択します。
3. [削除] をクリックします。
4. [OK] をクリックして確認します。

第 8 章: 会社アカウント

会社アカウント管理

「アカウント管理」メニューには、各種のアカウントタイプを作成、更新、有効化、および無効化するためのオプションがあります。

関連リンク

[ファームウェア管理](#) (22 ページ)

販売代理店アカウントを追加する

このタスクについて

販売代理店は、通信機器をカスタマーに提供します。販売代理店管理者は次のことができます。

- カスタマーアカウントを作成する。
- カスタマーサイトとプロフィールを追加する。
- サイト管理を実施し、登録コードを作成する。
- デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する。
- デバイスを要求または解除する。

サービスプロバイダは、販売代理店アカウントを作成できます。ただし、サービスプロバイダアカウントを作成できるのは Avaya の担当者だけです。本ドキュメントは、Avaya の担当者を対象にしていないため、サービスプロバイダアカウントの作成方法については説明していません。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、「会社アカウント」 > 「アカウント管理」に移動します。
2. 「追加」をクリックします。
3. 「基本情報」セクションで、次を行います。
 - a. 「アカウントタイプ」フィールドで、「販売代理店」をクリックします。
 - b. 「アカウント名」フィールドに、適切なアカウント名を入力します。
 - c. 連絡先の名前、勤務先電話番号、勤務先電子メールアドレスを入力します。
 - d. (オプション) 「BP リンク ID」フィールドで、アカウントの Avaya ビジネスパートナー ID を入力します。

BP リンク ID を使用して販売代理店アカウントをサービスプロバイダアカウントにリンクさせることができます。
4. 「会社の住所」セクションに、会社の住所を入力します。

5. (オプション) [サービス] セクションで、スイッチを右に移動して [二要素認証] を有効にします。

[二要素認証] によりアカウントのセキュリティを強化できます。詳しくは、「[二要素認証を使用して Device Enrollment Services にアクセスする](#) (14 ページ)」を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

次のステップ

販売代理店アカウントのアカウント管理者を追加します。アカウント管理者を追加するときに、アカウントの一時パスワードを作成できます。

関連リンク

[アカウント管理者を追加する](#) (39 ページ)

[アカウントリンクの要求を送信する](#) (48 ページ)

カスタマーアカウントを追加する

このタスクについて

カスタマーアカウントは、デバイスをカスタマーサイトに関連付けるために使用されます。デバイス設定に必要なプロファイルもカスタマーサイトに関連付けられます。サービスプロバイダと販売代理店はカスタマーアカウントを作成できます。

前提条件

[プロファイル管理] メニューからプロファイルを追加します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. [基本詳細] タブで、[基本情報] セクションに進み、次のいずれかを行います。
 - a. [アカウントタイプ] フィールドで、[カスタマー] をクリックします。
 - b. [アカウント名] フィールドに、適切なアカウント名を入力します。
 - c. 連絡先の名前、勤務先電話番号、勤務先電子メールアドレスを入力します。
 - d. (オプション) [SAP 顧客番号/機能ロケーション (FL)] フィールドに、アカウントの数値 ID を入力します。
4. [会社の住所] セクションに、会社の住所を入力します。
5. [送信] をクリックします。
6. [サイト] タブで、[追加] をクリックして次の手順を実行します。
 - a. [サイト] フィールドに、サイトロケーションの名前を入力します。
 - b. [プロファイル] で、次のいずれかを実行します。
 - [プロファイルの追加] をクリックして新しいプロファイルを作成してサイトに関連付ける。
 - プロファイルをクリックしてサイトに関連付ける。

[プロファイル管理] タブで追加したプロファイルがリストに表示されます。

- c. (オプション) 12 桁の登録コードを使用するには、4 桁の PIN を [PID (0000 ~ 9999)] フィールドに入力します。
- d. プロビジョニング URL が <https://des.avaya.com> に設定されている場合は、基本デバイス設定を含む zip ファイルをアップロードします。

*** 注**

[ファームウェア設定] オプションは、サイトの作成後に有効になります。

- e. ✓ をクリックして変更を保存します。
- f. (オプション) [ファームウェア設定] をクリックしてデバイスのファームウェアバージョンをアップグレードします。
- g. (オプション) ファームウェアバージョンをアップデートするデバイスモデルの [...](#) をクリックします。
- h. (オプション) [編集] をクリックし、[ファームウェアバージョン] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - デフォルトと同じ
 - 最新
 - オフ
 - デバイスモデルの 5 つのリリースから

7. (オプション) [ファームウェア管理] タブで、次を行います。

- a. ファームウェアバージョンをアップデートするデバイスモデルの [...](#) をクリックし、[編集] をクリックします。
- b. [ファームウェアバージョン] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最新 (デフォルト)
 - オフ
 - デバイスモデルの 5 つのリリースから

*** 注**

デフォルトでは、[ファームウェアアップグレード] スイッチがオンになっており、すべてのデバイスで最新のファームウェアバージョンが選択されています。[モデル] 列で、[すべて] オプションを選択すると、そのデバイスタイプのすべてのデバイスモデルが選択したファームウェアバージョンにアップグレードされます。

8. ✓ をクリックして変更を保存します。

関連リンク

[プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services](#) (20 ページ)

[プロファイルを追加する](#) (27 ページ)

[デバイスのファームウェアのアップグレードを有効または無効にする](#) (38 ページ)

[12 桁のプロビジョニング登録コード](#) (45 ページ)

[アカウント管理] セクションから複数サイトをプロファイルに関連付ける手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. リストから、複数のサイトをプロファイルに関連付けるカスタマーアカウントをクリックします。
3. [サイト] タブで、リストから、プロファイルに関連付ける複数のサイトを選択します。
[サイト] タブはカスタマーアカウントでのみ利用できます。サービスプロバイダまたは販売代理店アカウントでは利用できません。
4. [プロファイルの一括関連付け] をクリックします。
5. [プロビジョニング詳細] フィールドで、プロファイルとプロビジョニングサーバーを選択します。
6. [基本プロビジョニング設定ファイル] フィールドで、[ファイルの選択] をクリックして、基本デバイス設定を含む zip ファイルをアップロードします。
7. [送信] をクリックします。

アカウントを有効または無効にする

このタスクについて

カスタマーアカウントを追加すると、そのアカウントは自動的に有効になります。有効になっている場合、アカウントはログインに使用できるようになりますが、プロファイルやデバイスには自動的に関連付けられません。

アカウントを無効にすると、アカウント管理者は Device Enrollment Services にログインできなくなります。プロファイルとデバイスはアカウントとの関連付けが解除されます。

サービスプロバイダと販売代理店はアカウントを有効または無効にできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. [会社アカウント管理] リストで、必要なアカウントを選択します。
3. [他の操作] をクリックします。
4. 以下のいずれかをクリックします。
 - アカウントをロック解除する場合は [アカウントの有効化]。
 - アカウントをロックする場合は [アカウントの無効化]。

アカウントを更新する

このタスクについて

アカウント設定を更新できます。利用可能なフィールドは、アカウントタイプによって異なります。アカウントタイプを変更することはできませんが、アカウント名は変更できます。

アカウントのルート CA 証明書をアップロードすることもできます。ルート証明書はユーザー証明書を識別します。ユーザー証明書は、Device Enrollment Services Web ポータルへのログ

イン時に使用されます。証明書がパブリック認証局（CA）によって生成された場合、クライアントルート証明書は必要ありません。証明書の共通名は、ユーザーのログイン名に一致している必要があります。パブリック CA のリストについては、「[パブリック CA のリスト](#) (34 ページ)」を参照してください。

* 注

新しい基本プロビジョニング設定の zip ファイルをアップロードすると、Device Enrollment Services は以前にアップロードしたすべてのファイルを上書きします。以前にサイトに基本プロビジョニングファイルをアップロードし、新しいファイルを追加または更新した場合は、基本プロビジョニング zip バンドルの単一のファイルをアップロードするのではなく、以前にアップロードした基本プロビジョニング zip バンドルに新しいファイルを追加する必要があります。以前にアップロードした zip ファイルは、サイト設定からダウンロードできます。

たとえば、設定ファイルがアップロードされているサイトに証明書をアップロードする場合は、以前にアップロードされた設定ファイルを使用して証明書ファイルを含む基本プロビジョニング zip バンドルを作成します。基本プロビジョニング zip バンドルを作成した後、サイトに基本プロビジョニング zip バンドルをアップロードします。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. リストから目的のアカウントを選択します。
3. [編集] をクリックします。
4. 必要なフィールドを更新します。
アカウントタイプを変更することはできません。
5. (オプション) [クライアントルート CA] フィールドで、次のいずれかを実行します。
 - ルート証明書がアップロードされていない場合、[ファイルを選択] をクリックして、証明書をアップロードします。
 - ルート証明書がアップロードされている場合は、 をクリックしてダウンロードすると、証明書ファイルを表示できます。
6. [送信] をクリックして変更を保存します。

パブリック CA のリスト

Device Enrollment Services へのログインに使用されるユーザー証明書が次のいずれかのパブリック CA によって生成された場合は、アカウントを追加および更新するときにクライアントルート証明書をアップロードする必要はありません。

証明書名	発行元	タイプ
Actalis Authentication Root CA	Actalis Authentication Root CA	RSA
AffirmTrust Commercial	AffirmTrust Commercial	RSA
AffirmTrust Premium	AffirmTrust Premium	RSA
AffirmTrust Premium ECC	AffirmTrust Premium ECC	ECDSA
ANF Global Root CA	ANF Global Root CA	RSA

次のページに続く...

証明書名	発行元	タイプ
ApplicationCA2 Root	ApplicationCA2 Root	RSA
Atos TrustedRoot 2011	Atos TrustedRoot 2011	RSA
Autoridad de Certificacion Raiz del Estado Venezolano	Autoridad de Certificacion Raiz del Estado Venezolano	RSA
Buypass Class 2 Root CA	Buypass Class 2 Root CA	RSA
Buypass Class 3 Root CA	Buypass Class 3 Root CA	RSA
CA Disig Root R2	CA Disig Root R2	RSA
Certinomis - Root CA	Certinomis - Root CA	RSA
Certum Trusted Network CA 2	Certum Trusted Network CA 2	RSA
CFCA EV ROOT	CFCA EV ROOT	RSA
COMODO ECC Certification Authority	COMODO ECC Certification Authority	ECDSA
COMODO RSA Certification Authority	COMODO RSA Certification Authority	RSA
ComSign Global Root CA	ComSign Global Root CA	RSA
DigiCert Assured ID Root G2	DigiCert Assured ID Root G2	RSA
DigiCert Assured ID Root G3	DigiCert Assured ID Root G3	ECDSA
DigiCert Global Root G2	DigiCert Global Root G2	RSA
DigiCert Global Root G3	DigiCert Global Root G3	ECDSA
DigiCert Trusted Root G4	DigiCert Trusted Root G4	RSA
D-TRUST Root Class 3 CA 2 2009	D-TRUST Root Class 3 CA 2 2009	RSA
D-TRUST Root Class 3 CA 2 EV 2009	D-TRUST Root Class 3 CA 2 EV 2009	RSA
Entrust Root Certification Authority - EC1	Entrust Root Certification Authority - EC1	ECDSA
Entrust Root Certification Authority - G2	Entrust Root Certification Authority - G2	RSA
Federal Common Policy CA	Federal Common Policy CA	RSA
GeoTrust Primary Certification Authority - G2	GeoTrust Primary Certification Authority - G2	ECDSA
GeoTrust Primary Certification Authority - G3	GeoTrust Primary Certification Authority - G3	RSA
GlobalSign	GlobalSign	ECDSA or RSA
Go Daddy Root Certificate Authority - G2	Go Daddy Root Certificate Authority - G2	RSA
Government Root Certification Authority	Government Root Certification Authority	RSA
IdenTrust Commercial Root CA 1	IdenTrust Commercial Root CA 1	RSA
IdenTrust Public Sector Root CA 1	IdenTrust Public Sector Root CA 1	RSA

次のページに続く...

証明書名	発行元	タイプ
ISRG Root X1	ISRG Root X1	RSA
Izenpe.com	Izenpe.com	RSA
Microsec e-Szigno Root CA 2009	Microsec e-Szigno Root CA 2009	RSA
NetLock Arany (Class Gold) Főtanúsítvány	NetLock Arany (Class Gold) Főtanúsítvány	RSA
OISTE WISKey Global Root GB CA	OISTE WISKey Global Root GB CA	RSA
QuoVadis Root CA 1, 2, or 3 G3	QuoVadis Root CA 1, 2, or 3 G3	RSA
Security Communication RootCA2	Security Communication RootCA2	RSA
Staat der Nederlanden Root CA - G3	Staat der Nederlanden Root CA - G3	RSA
Starfield Root Certificate Authority - G2	Starfield Root Certificate Authority - G2	RSA
Starfield Services Root Certificate Authority - G2	Starfield Services Root Certificate Authority - G2	RSA
StartCom Certification Authority	StartCom Certification Authority	RSA
StartCom Certification Authority G2	StartCom Certification Authority G2	RSA
Swisscom Root CA 2	Swisscom Root CA 2	RSA
Swisscom Root EV CA 2	Swisscom Root EV CA 2	RSA
SwissSign Gold Root CA - G3	SwissSign Gold Root CA - G3	RSA
SwissSign Platinum Root CA - G3	SwissSign Platinum Root CA - G3	RSA
SwissSign Silver Root CA - G3	SwissSign Silver Root CA - G3	RSA
Symantec Class 1 Public Primary Certification Authority - G4	Symantec Class 1 Public Primary Certification Authority - G4	ECDSA
Symantec Class 1 Public Primary Certification Authority - G6	Symantec Class 1 Public Primary Certification Authority - G6	RSA
Symantec Class 2 Public Primary Certification Authority - G4	Symantec Class 2 Public Primary Certification Authority - G4	ECDSA
Symantec Class 2 Public Primary Certification Authority - G6	Symantec Class 2 Public Primary Certification Authority - G6	RSA
Symantec Class 3 Public Primary Certification Authority - G4	Symantec Class 3 Public Primary Certification Authority - G4	ECDSA
Symantec Class 3 Public Primary Certification Authority - G6	Symantec Class 3 Public Primary Certification Authority - G6	RSA

次のページに続く...

証明書名	発行元	タイプ
thawte Primary Root CA - G2	thawte Primary Root CA - G2	ECDSA
thawte Primary Root CA - G3	thawte Primary Root CA - G3	RSA
TRUST2408 OCES Primary CA	TRUST2408 OCES Primary CA	RSA
T-TeleSec GlobalRoot Class 2 or 3	T-TeleSec GlobalRoot Class 2 or 3	RSA
TWCA Global Root CA	TWCA Global Root CA	RSA
USERTrust ECC Certification Authority	USERTrust ECC Certification Authority	ECDSA
USERTrust RSA Certification Authority	USERTrust RSA Certification Authority	RSA
VeriSign Class 3 Public Primary Certification Authority - G4	VeriSign Class 3 Public Primary Certification Authority - G4	ECDSA
VeriSign Universal Root Certification Authority	VeriSign Universal Root Certification Authority	RSA

関連リンク

[販売代理店アカウントを追加する](#) (30 ページ)

アカウントを削除する

このタスクについて

サービスプロバイダまたは販売代理店は、アカウントが不要になった場合には、そのアカウントを削除できます。このアカウントに関連付けられていたデバイスは、削除されたアカウントに関連付けられる前に属していたアカウントに関連付けられます。

★ 注

削除されたアカウントの管理者が作成したアカウントも削除されます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. リストから目的のアカウントを選択します。
3. [削除] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

アカウントのヒエラルキを表示する

このタスクについて

アカウントのリストを表示するには、この手順を使用します。アカウントは、ヒエラルキ順に表示されます。アカウントカテゴリ（「販売代理店」など）を展開し、そのカテゴリの下に作成されているアカウントを表示できます。アカウントの詳細を編集することもできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。

2. [アカウントのヒエラルキを開く] をクリックします。
3. 画面の左側の前方矢印 (▶) をクリックしてアカウントカテゴリを展開し、その下のサブアカウントを表示します。

例えば、「販売代理店」を展開すると、Device Enrollment Services に販売代理店アカウントのリストが表示されます。
4. アカウントをクリックして、アカウントの詳細を更新します。
5. [アカウントのヒエラルキを閉じる] をクリックして、アカウントのヒエラルキを閉じます。

関連リンク

[アカウントを更新する](#) (33 ページ)

デバイスのファームウェアのアップグレードを有効または無効にする

このタスクについて

デバイスが要求されておらず、登録コードを使用している場合、デバイスは [デバイスファミリー] メニューに表示されるアップグレード可能なファームウェアバージョンにアップグレードされます。デバイスが要求されると、Device Enrollment Services でアカウントのファームウェアのアップグレード設定が検証されます。デフォルトでは、カスタマーアカウントのファームウェアのアップグレード設定は無効になっています。ファームウェアのバージョンがデバイス登録に必要なバージョンより古い場合には、要求されたデバイスのファームウェアの自動アップグレードを有効にできます。デバイスをアップグレードしたら、デバイスを登録できるようになります。

プロビジョニングサーバーの設定ファイルで設定されているファームウェアバージョンは、Device Enrollment Services で設定されているバージョン以上でなければなりません。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. [会社アカウント管理] リストで、必要なカスタマーアカウントを選択します。
3. [他の操作] をクリックします。
4. 次のいずれかをクリックします。
 - [ファームウェアアップグレードの有効化] .
 - [ファームウェアアップグレードの無効化] .

関連リンク

[ファームウェアバージョンを表示する](#) (62 ページ)

[サポートされるデバイスと機能](#) (75 ページ)

二要素認証を有効にする

このタスクについて

二要素認証では、2 番目の要素として OTP を使用することで、アカウントのセキュリティを強化できます。二要素認証が会社レベルで有効になっている場合は、その会社のすべての管理ユ

ユーザーは初期ログイン手順の実行後に OTP を入力する必要があります。二要素認証が会社レベルで無効になっている場合は、特定のアカウントでこのオプションを有効にできます。二要素認証はデフォルトでは無効になっています。

サービスプロバイダは、それらに属する販売代理店アカウントで二要素認証を有効にできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. [会社アカウント管理] リストで、アカウントを選択します。
3. [他の操作] をクリックします。
4. [二要素認証の有効化] をクリックします。

関連リンク

[二要素認証を使用して Device Enrollment Services にアクセスする](#) (14 ページ)

Application Programming Interface (API) を要求する

このタスクについて

Application Programming Interface (API) は、アプリケーションソフトウェアを構築および統合するための一連の定義とプロトコルです。Device Enrollment Services の API は他のアプリケーションと統合できます。API にアクセスできない場合は、管理者にアクセス権を要求できます。API の詳細については、<https://des.avaya.com/apidocs/> を参照してください。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. リストから目的のアカウントを選択します。
3. [編集] をクリックします。
4. [サービス] セクションで、[要求] をクリックします。

管理ユーザーの管理

[ユーザー管理] メニューでは、アカウントの管理者を追加、更新、削除できます。サービスプロバイダとして、作成した販売代理店アカウントの管理者を管理することもできます。

アカウント管理者を追加する

このタスクについて

販売代理店またはカスタマーのアカウントを追加したら、そのアカウントの管理者を追加する必要があります。

管理者は、要求されたデバイスで操作を実行したり、アカウントの他の管理者を管理したりできます。サービスプロバイダ管理者として、販売代理店およびカスタマーのアカウントを管理することもできます。販売代理店管理者は、カスタマーアカウントを管理できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [ユーザー管理] に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. [アカウント名] タブで、目的のアカウントを選択します。
4. アカウント管理者の名前を入力します。
5. [電子メール ID] に、電子メールアドレスを入力します。
6. [ログイン名] に、Device Enrollment Services にログインするアカウント管理者のユーザー名を入力します。
7. [パスワード] と [パスワードの確認] に、一時ログインパスワードを入力します。
新しいアカウント管理者は、Device Enrollment Services に初めてログインした後、パスワードを変更するように求められます。
8. [ユーザーロケール] で、使用する言語を選択します。
選択したアカウントの Device Enrollment Services Web ポータルが選択した言語で表示されます。
9. [送信] をクリックします。

結果

アカウント管理者が追加されると、アカウント管理者は Device Enrollment Services にログインするための資格情報が記載された電子メールを受け取ります。

関連リンク

[販売代理店アカウントを追加する](#) (30 ページ)

アカウント管理者を更新する

このタスクについて

管理者アカウントの詳細を編集して個人情報を更新したり、パスワードをリセットしたりできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [ユーザー管理] に移動します。
2. リストから目的のユーザーアカウントを選択します。
3. [編集] をクリックします。
4. (オプション) 必要に応じて名、姓、電子メール、ログイン名、パスワードを変更します。
ユーザーの詳細を更新する場合、アカウント名を変更することはできません。
5. (オプション) [ユーザーロケール] で、必要に応じて使用する言語を変更します。
6. [送信] をクリックします。

アカウント管理者を削除する

このタスクについて

アカウント管理者を削除して、Device Enrollment Services Web ポータルへのアクセスを無効にすることができます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [ユーザー管理] に移動します。
2. リストから目的のアカウント管理者を選択します。
3. [削除] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

サイト管理

[サイト管理] メニューから、次を実行できます。

- [プロファイル別] に進み、カスタマーアカウントに関連付けられたプロファイルを管理する。
- [EC 別] に進み、登録コードを使用してデバイスを登録する場合、登録コードを生成および管理する。
- [一括管理] に進み、複数カスタマーサイトにアップロードした基本設定ファイルのステータスと詳細を表示する。

関連リンク

[デバイスをインポートする](#) (52 ページ)

アカウントを検索する

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [サイト管理] に移動し、次のいずれかをクリックします。
 - [プロファイル別]
 - [EC 別]
2. 画面の右側で、▼ をクリックします。
ほとんどの列に下に [検索] フィールドが表示されます。
3. アカウントを検索するには、1 つまたは複数の [検索] フィールドにキーワードを入力します。

関連リンク

[登録コード別検索オプション](#) (42 ページ)

[プロフィール別検索オプション](#) (42 ページ)

【登録コード別】 検索オプション

次のテーブルで【登録コード別】画面の【検索】フィールドを説明します。

検索オプション	機能
【アカウント名】	【検索】 フィールドに、アカウント名を入力します。
【サイト】	【検索】 フィールドに、サイトロケーションを入力します。例：ロンドン。
【登録コード】	【検索】 フィールドに、8 桁または 12 桁の数値登録コードを入力します。この登録コードはランダムに生成されます。
【失効済み】	【検索】 フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。 ・【はい】：登録コードが期限切れのアカウントを表示します。 ・【いいえ】：登録コードがアクティブなアカウントを表示します。
【作成者】	【検索】 フィールドに、アカウント管理者の名前を入力します。

関連リンク

[登録コード](#) (43 ページ)

【プロフィール別】 検索オプション

次のテーブルで【プロフィール別】画面の【検索】フィールドを説明します。

検索オプション	機能
【アカウント名】	【検索】 フィールドに、アカウント名を入力します。
【サイト】	【検索】 フィールドに、サイトロケーションを入力します。例：ロンドン。
【プロファイル】	【検索】 フィールドに、検索するプロファイル名を入力します。
【PEC】	【検索】 フィールドに、8 桁のアカウント ID と 4 桁の PIN を含む 12 桁のプロビジョニング登録コードを入力します。
【作成者】	【検索】 フィールドに、アカウント管理者の名前を入力します。

関連リンク

[登録コード](#) (43 ページ)

アカウントに関連付けられたプロファイルを設定する

このタスクについて

使用可能なオプションから別のプロファイルを選択できます。プロファイルについて表示される情報には、プロファイル名、関連付けられたプロビジョニング URL、電話グループが含まれます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、【会社アカウント】 > 【サイト管理】 > 【プロファイル別】に移動します。
2. リストから、更新するアカウントを見つけます。

3.  をクリックし、[編集] をクリックします。
4. リストからプロファイルオプションを選択します。
表示されるプロファイルオプションは、[プロファイル管理] で設定した内容によって異なります。
5. ✓ をクリックして変更を保存します。

関連リンク

[プロファイルを追加する](#) (27 ページ)

登録コード

デバイスをインポートすると、登録コードの有無にかかわらず登録が可能です。登録コードが生成されたら、デバイスユーザーはデバイスにそのコードを入力します。その後デバイスは自動的に有効になり、要求され、カスタマーサイトに関連付けられます。

次の 2 種類の登録コードを生成できます。

- 8 桁または 12 桁数値登録コード：この登録コードの数値はランダムに生成されます。この登録コードに有効期限を設定することもできます。セキュリティを強化するために、8 桁または 12 桁の数値登録コードを使用してください。
- 12 桁のプロビジョニング登録コード：この登録コードには、カスタマーの 8 桁のアカウント ID と 4 桁の PIN が含まれています。任意の PIN を作成できます。この登録コードは有効期限がなく、覚えやすいコードです。

関連リンク

[デバイスのロックアウト設定](#) (19 ページ)

8 桁または 12 桁の数値登録コード

8 桁または 12 桁の数値登録コードを生成する

このタスクについて

8 桁または 12 桁の数値登録コードはランダムであり、このタイプの登録コードには有効期限があります。8 桁または 12 桁の数値登録コードは、12 桁のプロビジョニング登録コードよりもセキュアです。

前提条件

プロファイルが、登録コードの作成対象のサイトに関連付けられていることを確認します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [サイト管理] > [EC 別] に移動します。
2. リストからサイトを選択します。
3. 関連するプロファイルと電話グループを変更するには、次の手順を実行します。
 - a. [サイト] タブで、 をクリックし、[編集] をクリックします。
 - b. 必要なフィールドを更新します。
 - c. (オプション) プロファイルに複数のプロビジョニング URL が含まれている場合は、[プロビジョニング URL] リストで該当するプロビジョニング URL を選択します。

- d. ✓ をクリックして変更を適用します。
4. [生成] をクリックします。
[数値登録コード設定] ダイアログボックスが表示されます。[名前] フィールドに自動的に値が入力されます。
5. [NEC 長] フィールドで、次の 2 つの数値登録コードの桁数オプションを選択します。
 - 8 桁
 - 12 桁
6. [登録するデバイス合計数] フィールドに、コードを使用して設定するデバイスの数を入力します。
合計数に達すると、この登録コードを使用してそれ以上デバイスを登録することができなくなります。
7. [期限タイプ] フィールドで、次のいずれかを選択します。
 - [時間 (1 ~ 72)]
 - [日 (1 ~ 90)]
 - [週 (1 ~ 12)]
 - [月 (1 ~ 3)]
 - [有効期限なし]
8. [有効期限] フィールドに、数値を入力します。
例えば、前の手順で 2 を入力し [週 (1 ~ 12)] を選択した場合は、登録コードの有効期間が 2 週間に設定されます。有効期間の上限は 3 か月です。
前の手順で [有効期限なし] を選択した場合は、この手順は適用されません。
9. [送信] をクリックします。

結果

これで生成した登録コードを使用してデバイスを設定できるようになります。

関連リンク

[8 桁または 12 桁の数値登録コードを再生成する](#) (45 ページ)

サイトの 8 桁または 12 桁の数値登録コードの設定を更新する

このタスクについて

登録するデバイスの総数や登録コードの有効期限など、8 桁または 12 桁の数値登録コードの設定を更新できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [サイト管理] > [EC 別] に移動します。
2. リストからサイトを選択します。
3. [更新] をクリックします。

4. 必要に応じて設定を更新します。

「登録されたデバイスの数」フィールドには、現在の登録コードで登録されているデバイスの数が表示されます。

5. 「送信」をクリックして変更を保存します。

8 桁または 12 桁の数値登録コードを再生成する

このタスクについて

8 桁または 12 桁の数値登録コードの有効期限が切れた場合は、同じ設定を使用して登録コードを再生成できます。この場合、新しいコードが生成され、再生成された時間から有効期間が始まります。登録コードが再生成された場合、登録されているデバイスの数はリセットされません。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、「会社アカウント」 > 「サイト管理」 > 「EC 別」に移動します。
2. リストからサイトを選択します。
3. 「再生成」をクリックします。
「数値登録コードの再生成」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「数値登録コードの再生成」ダイアログボックスで、次の 2 つの数値登録コードの桁数オプションから選択します。
 - 8 桁
 - 12 桁
5. 「送信」をクリックします。

12 桁のプロビジョニング登録コード

次の 2 つのセクションから 12 桁のプロビジョニング登録コードを生成できます。

- 「サイト管理」
- 「アカウント管理」

12 桁のプロビジョニング登録コードは次で構成されています。

- 8 桁のアカウント ID。「アカウント管理」画面からアカウント ID を表示できます。
- ユーザーが作成する 4 桁の PIN。

このタイプの登録コードの有効期限はありません。

「サイト管理」セクションから 12 桁のプロビジョニング登録コードを生成する

このタスクについて

「サイト管理」からプロファイルの 12 桁のプロビジョニング登録コードを設定できます。

前提条件

- プロファイル追加します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、「会社アカウント」 > 「サイト管理」 > 「プロファイル別」に移動します。

2. リストから、更新するアカウントを見つけます。
3. 登録コードを生成するサイトの [...](#) をクリックし、[編集] をクリックします。
4. リストからプロフィールを選択します。
5. [PID (0000 ~ 9999)] フィールドで、4 桁の PIN を入力します。
6. ✓ をクリックして変更を保存します。

結果

登録コードは選択した新しいプロフィールに適用されます。

関連リンク

[カスタマーアカウントを追加する](#) (31 ページ)

[アカウントに関連付けられたプロフィールを設定する](#) (42 ページ)

[アカウント管理] 画面から 12 桁のプロビジョニング登録コードを生成する

このタスクについて

[アカウント管理] 画面からカスタマーアカウントを追加または編集する際に、12 桁のプロビジョニング登録コードを設定できます。

前提条件

- プロファイル追加します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - 新しいカスタマーアカウントを追加するには、[追加] をクリックします。
 - アカウントを編集するには、アカウントを選択して [編集] をクリックします。
3. [基本詳細] タブで、[基本情報] セクションに進み、次のいずれかを行います。
 - a. [アカウントタイプ] フィールドで、[カスタマー] をクリックします。
 - b. 必要なフィールドを更新します。
4. [サイト] タブで、[追加] をクリックして次の手順を実行します。
 - a. [サイト] フィールドに、サイトロケーションの名前を入力します。
 - b. [プロフィール] で、登録コードを生成するプロフィールを選択します。
[プロフィール管理] タブで追加したプロフィールがリストに表示されます。
 - c. [PID (0000 ~ 9999)] フィールドで、4 桁の PIN を入力します。
 - d. ✓ をクリックします。
5. [送信] をクリックします。

結果

登録コードは選択した新しいプロフィールに適用されます。

関連リンク

[カスタマーアカウントを追加する](#) (31 ページ)

プロファイルの一括関連付け

複数のカスタマーサイトの基本デバイス設定を含む単一の zip ファイルをアップロードできます。次の 2 つのセクションから、複数のカスタマーサイトをプロファイルに関連付けることができます。

- [アカウント管理]
- [サイト管理]

* 注

Device Enrollment Services をプロビジョニングサーバーとして使用している場合、基本設定 zip ファイルをアップロードできます。

[アカウント管理] セクションから複数サイトをプロファイルに関連付ける手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. リストから、複数のサイトをプロファイルに関連付けるカスタマーアカウントをクリックします。
3. [サイト] タブで、リストから、プロファイルに関連付ける複数のサイトを選択します。
[サイト] タブはカスタマーアカウントでのみ利用できます。サービスプロバイダまたは販売代理店アカウントでは利用できません。
4. [プロファイルの一括関連付け] をクリックします。
5. [プロビジョニング詳細] フィールドで、プロファイルとプロビジョニングサーバーを選択します。
6. [基本プロビジョニング設定ファイル] フィールドで、[ファイルの選択] をクリックして、基本デバイス設定を含む zip ファイルをアップロードします。
7. [送信] をクリックします。

[サイト管理] セクションから複数サイトをプロファイルに関連付ける手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [サイト管理] > [プロファイル別] に移動します。
2. リストから、プロファイルに関連付ける複数のサイトを選択します。
3. [プロファイルの一括関連付け] をクリックします。
4. [プロビジョニング詳細] フィールドで、プロファイルとプロビジョニングサーバーを選択します。
5. [基本プロビジョニング設定ファイル] フィールドで、[ファイルの選択] をクリックして、基本デバイス設定を含む zip ファイルをアップロードします。
6. [送信] をクリックします。

サイトの詳細を表示する

このタスクについて

名前、ジョブタイプ、ステータス、合計サイト数、サイト作成者名など、すべてのサイトの詳細のリストを表示できます。サイトの基本プロビジョニング設定ファイルをダウンロードすることもできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [サイト管理] > [一括管理] に移動します。
[サイト一括管理] ページに、すべてのジョブのリストが表示されます。各ジョブの行には、基本的なジョブの詳細とジョブのステータスが表示されます。
2. 特定のジョブのその他の詳細を表示するには、ジョブ名をクリックします。
3. (オプション) ⬇ をクリックして、基本プロビジョニング設定ファイルをダウンロードします。

[サイト一括管理] 検索オプション

次のテーブルで [サイト一括管理] 画面の [検索] フィールドについて説明します。

検索オプション	機能
[名前]	ジョブの名前を入力します。
[ステータス]	次のいずれかのオプションを選択します。 • [完了]：完了済みのジョブを表示します。 • [失敗]：失敗したジョブを表示します。 • [進行中]：進行中のジョブを表示します。
[開始時刻]	実行されるタスクの開始時刻と日付を入力します。
[終了時刻]	実行されるタスクの終了時刻と日付を入力します。
[作成者]	アカウント管理者の名前を入力します。

アカウントのリンク

アカウントリンクの要求を送信する

このタスクについて

サービスプロバイダとして、アカウントリンク要求を販売代理店に送信できます。リンクされると、要求されたデバイスの所有権を販売代理店のアカウントに移行できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. [販売代理店にリンク] をクリックします。

3. [BP リンク ID] フィールドで、販売代理店の Avaya ビジネスパートナー ID を入力します。
4. [送信] をクリックします。

関連リンク

[販売代理店アカウントを追加する](#) (30 ページ)

リンクの要求を承認する

このタスクについて

販売代理店として、デバイスの所有権の譲渡を希望するサービスプロバイダから受け取ったリンクの要求を承認または拒否できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [リンクの要求] に移動します。
2. 販売代理店アカウントとリンクするサービスプロバイダアカウントを選択します。
3. リンクの要求を承認するには、[リンクの承認] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

第 9 章: ラベル管理

ラベルを作成すると、デバイスを分類できます。たとえば、ラベルを使用すると特定のカスタマーサイトの Avaya Vantage™ デバイスを分類できます。作成したラベルは 1 つ以上のデバイスに関連付けることができます。一括操作の実行中にラベルを選択することもできます。ラベルが不要になったら、削除できます。

新規ラベルを作成する

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [ラベル管理] に移動します。
2. [追加] をクリックします。
3. 次の各フィールドを入力します。
 - [ラベル名]
 - [説明]
4. [送信] をクリックします。

次のステップ

ラベルをデバイスに関連付けます。

デバイスとラベルに関連付ける

このタスクについて

この手順を使用して、ラベルを少数のデバイスに関連付けます。一括操作のラベルを選択する場合は、「[デバイスを一括で要求、アクティブ化、関連付け、関連付け解除、解除する](#) (53 ページ)」を参照してください。

前提条件

ラベルを作成します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。

3. [他の操作] をクリックします。
4. [デバイスをラベルに関連付ける] をクリックします。
5. ラベルを選択します。
デバイスには複数のラベルを選択できます。
6. [送信] をクリックします。

関連リンク

[デバイスを一括で要求、アクティブ化、関連付け、関連付け解除、解除する](#) (53 ページ)
[新規ラベルを作成する](#) (50 ページ)

デバイスのラベルの関連付けを解除する

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。
3. [他の操作] をクリックします。
4. [ラベルの関連付けの解除] をクリックします。
5. [ラベルを選択] リストから 1 つ以上のラベルを選択します。
6. [送信] をクリックします。

ラベルを削除する

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [ラベル管理] に移動します。
2. リストから 1 つ以上のラベルを選択します。
3. [ラベルの削除] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

第 10 章: デバイス管理

デバイスを登録する前に、Device Enrollment Services にインポートする必要があります。製造メーカーは、JSON、CSV、または ZIP ファイルを使用してデバイスを一括インポートします。これらのデバイスは、Avaya 管理者によって承認されます。

インポートされたデバイスを登録するには、次の手順を実行します。

- 登録コードを生成します。登録が正常に完了すると、デバイスは自動的に有効になり、アカウントに対して要求され、カスタマーサイトに関連付けられます。詳しくは、「[サイト管理](#) (41 ページ)」を参照してください。
- デバイスの要求、カスタマーサイトへの関連付け、アクティブ化などのデバイス管理操作を手動で実行します。デバイスは、登録コードなしで登録されます。

デバイスをインポートする

このタスクについて

製造メーカーとして、デバイスをインポートできます。デバイスをインポートすると、Device Enrollment Services に追加されます。インポートされたデバイスをその後管理するには、そのデバイスが Avaya 管理者によって承認される必要があります。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [一括管理] に移動します。
2. [新規ジョブ] をクリックします。
3. [一括操作の名前] フィールドに名前を入力します。
4. [一括アクションを選択] で、[インポート] を選択します。
これで製造メーカーはデバイスをインポートできます。
5. (オプション) [テンプレートのダウンロード] をクリックして、前のステップで選択したファイルタイプのテンプレートをダウンロードします。
6. [ファイルの種類を選択] で、インポートするファイルのタイプを選択します。
7. [参照] をクリックして、インポートするデバイスに関する情報を含むファイルをアップロードします。
8. [送信] をクリックします。

関連リンク

[ラベル管理](#) (50 ページ)

デバイスを一括で要求、アクティブ化、関連付け、関連付け解除、解除する

このタスクについて

次を実行できます。

- デバイスを一括で要求する。
- 複数のデバイスをカスタマーサイトに関連付け/関連付け解除する。
- デバイスを一括でアクティブ化または無効化する。
- 複数デバイスの所有権を一括でリリースする。この操作では、デバイスの所有権を親アカウントに戻します。
- Ring Central システムで 1 つまたは複数のデバイスをカスタマーアカウントと一括で同期します。このアクションでは、単一のステップで、Ring Central システムとのデバイスの要求、アクティブ化、関連付け、同期を行います。同期操作は Avaya Cloud Offer アカウントにのみ適用されます。Avaya Cloud Office™ (ACO) 製品の ID データが入力ファイルに入力されている場合、Device Enrollment Services はデータを無視します。

一度に 1 つ以上の一括管理操作を実行できます。Device Enrollment Services に一連のオプションが共に表示されます。たとえば、[要求] を選択すると、同時に [関連付け] または [アクティブ化] を選択できます。

登録コードを使用せずに登録を実行する場合は、デバイスの要求、関連付け、アクティブ化を手動で行う必要があります。

前提条件

- デバイスが製造メーカーによってインポートされ、Avaya 管理者によって承認されていることを確認します。
- ラベルを使用してデバイスを分類する前に、[デバイス] > [ラベル管理] に進みラベルを作成する必要があります。詳しくは、「[新規ラベルを作成する](#) (50 ページ)」を参照してください。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [一括管理] に移動します。
2. [新規ジョブ] をクリックします。
3. [一括操作の名前] に名前を入力します。
4. [一括アクションを選択] には、次のグループの複数のオプションを選択します。
 - [要求] を選択すると、[関連付け] または [アクティブ化] も選択できます。
 - [関連付けの解除] を選択すると、[関連付け] または [解除] も選択できます。
 - [関連付け] を選択すると、[アクティブ化] も選択できます。
 - [アクティブ化]、[無効化]、[同期]、[解除] を選択すると、他のオプションを利用できなくなります。

使用可能なオプションは役割によって異なります。

5. [関連付け] を選択する場合は、[アカウント名] フィールドにアカウント名を入力します。

6. (オプション) [デバイスラベルの使用] スイッチを右に移動すると、デバイスラベルが有効になります。
[要求] を選択した場合、このスイッチは使用できません。この場合は、次の手順で説明するように、該当するラベルを選択するだけです。
7. (オプション) [ラベルと関連付ける] または [ラベルを選択] から、該当するラベルを選択します。
[ラベルと関連付ける] は [要求] を選択すると表示されます。[ラベルを選択] はその他の操作で表示されます。
8. (オプション) [テンプレートのダウンロード] をクリックして選択したファイルタイプのテンプレートをダウンロードします。
9. ラベルを使用しない場合は、[ファイルの種類を選択] でインポートするファイルのタイプを選択します。
10. [参照] をクリックして、デバイスの情報を含むファイルをアップロードします。
11. [送信] をクリックします。

関連リンク

[デバイスをインポートする](#) (52 ページ)

[ラベル管理](#) (50 ページ)

ジョブの詳細を表示する

このタスクについて

名前、ジョブタイプ、ステータス、合計サイト数、ジョブ作成者名など、すべてのサイトの詳細のリストを表示できます。ジョブの詳細ファイルをダウンロードすることもできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [一括管理] に移動します。
[一括管理] ページに、追加されたすべてのジョブのリストが表示されます。各ジョブの行には、基本的なジョブの詳細とジョブのステータスが表示されます。
2. 特定のジョブのその他の詳細を表示するには、ジョブ名をクリックします。
3. (オプション) ジョブの詳細をダウンロードするには、 をクリックして、次のいずれかからファイルタイプを選択します
 - JSON
 - CSV
4. [送信] をクリックします。

[デバイスのジョブ詳細] 検索オプション

次のテーブルで [デバイスのジョブ詳細] 画面の [検索] フィールドについて説明します。

検索オプション	機能
[MAC アドレス]	[検索] フィールドに、デバイスの MAC アドレスを入力します。
[ジョブステータス]	[検索] フィールドに、ジョブのステータスを入力します。 たとえば、失敗したジョブを表示する場合は、[失敗] と入力します。Device Enrollment Services にすべての失敗したジョブのリストが表示されます。
[シリアル番号]	[検索] フィールドに、デバイスのシリアル番号を入力します。
[販売代理店注文 ID]	[検索] フィールドに、カスタマーの名前を入力します。
[Avaya 注文 ID]	[検索] フィールドに、Avaya の注文番号を入力します。
[配送業者]	[検索] フィールドに、配送業者の名前を入力します。 例えば、DHL によって出荷された配送を表示する場合は、DHL と入力します。Device Enrollment Services に DHL によって出荷されたすべての配送のリストが表示されます。
[配送業者追跡 ID]	[検索] フィールドに、配送業者追跡番号を入力します。
[製品 ID]	[検索] フィールドに、デバイスの製品 ID を入力します。
[モデル番号]	[検索] フィールドに、デバイスのモデル番号を入力します。
[製造年月日]	[検索] フィールドに、製造年月日を入力します。Device Enrollment Services がこの日時に一致するデバイスを検索します。
[アクティブ]	[検索] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。 • [はい] : アクティブなデバイスを表示します。 • [いいえ] : 非アクティブなデバイスを表示します。

ジョブの詳細をエクスポートする

このタスクについて

MAC アドレス、ジョブステータス、シリアル番号、製品 ID、モデル番号、製造年月日、ステータス、販売代理店注文 ID、Avaya 注文 ID、配送業者、配送業者追跡 ID などの追加されたジョブに関する情報をエクスポートできます。

手順

1. Device Enrollment Services web ポータルで、[デバイス] > [一括管理] に進みます。
2.  をクリックします。
3. エクスポートする次のファイルタイプのいずれかを選択します。
 - [JSON]
 - [CSV]
4. [送信] をクリックします。

Device Enrollment Services がジョブの詳細をダウンロードします。

少数のデバイスに対する管理操作

1 台または数台のデバイスを管理する場合は、次のセクションを参照してください。登録コードを使用せずに登録を実行する場合は、デバイスの要求、関連付け、アクティブ化を手動で行う必要があります。

デバイスを要求する

このタスクについて

デバイスを要求すると、その所有権を取得し、カスタマーサイトに関連付けることができます。

前提条件

デバイスの MAC アドレス、シリアル番号、またはその両方を取得します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの要求] に移動します。
2. デバイスの MAC アドレス、シリアル番号、またはその両方を入力します。
3. [要求] をクリックします。

次のステップ

要求したデバイスをカスタマーサイトに関連付けられるようになります。サービスプロバイダは、デバイスを販売代理店アカウントに関連付けることもできます。

関連リンク

[デバイスを販売代理店アカウントに関連付ける](#) (56 ページ)

[デバイスをカスタマーサイトに関連付ける](#) (57 ページ)

[デバイスを解除する](#) (58 ページ)

[デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する](#) (58 ページ)

デバイスを販売代理店アカウントに関連付ける

このタスクについて

サービスプロバイダは、要求されたデバイスの所有権を販売代理店アカウントに移転できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。
3. [関連付け] をクリックします。
4. 販売代理店アカウントを選択します。
5. [送信] をクリックします。

次のステップ

デバイスが販売代理店アカウントに関連付けられると、販売代理店管理者はそれらのデバイスをカスタマーサイトに関連付けたり、その他のデバイス管理タスクを実行したりできます。

デバイスをカスタマーサイトに関連付ける

このタスクについて

要求されたデバイスをカスタマーサイトに関連付けることで、登録コードを入力しなくても登録を行えるようにすることができます。

前提条件

プロフィールをカスタマーサイトに関連付けます。プロフィール設定には、正しいプロビジョニング URL と電話グループが含まれている必要があります。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。
3. [関連付け] をクリックします。
4. アカウントとカスタマーサイトを選択します。
5. [送信] をクリックします。

次のステップ

デバイスをアクティブ化して登録します。

関連リンク

[プロフィールを追加する](#) (27 ページ)

[デバイスを要求する](#) (56 ページ)

[デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する](#) (58 ページ)

デバイスの関連付けを解除する

このタスクについて

子アカウントからデバイスの関連付けを解除すると、デバイスの所有権をアカウントに戻すことができます。

注

デバイスの関連付けを解除すると、Device Enrollment Services は販売代理店注文 ID、Avaya 注文 ID、配送業者、配送業者追跡 ID などの情報を削除します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。
3. [関連付けの解除] をクリックします。
4. 確認のため [OK] をクリックします。

デバイスをアクティブ化または非アクティブ化する

このタスクについて

デバイスは次の状況でアクティブ化する必要があります。

- 登録コードなしの自動登録を有効にする場合。
- 登録コードを使用しているが、デバイスユーザーが正しくないコードを 3 回以上入力した場合。この場合、デバイスは再アクティブ化するまで登録できません。

アクティブ化または非アクティブ化され、どのアカウントにも関連付けられていないデバイスは登録コードを使用して登録できます。

前提条件

- 必要なデバイスを要求します。
- デバイスを登録コードなしで自動的に登録するには、アクティブ化する前にデバイスをカスタマーサイトに関連付ける必要があります。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. テーブルから、1 台以上のデバイスを選択します。
3. 選択したデバイスをアクティブ化するには、[アクティブ化] をクリックします。
4. 選択したデバイスを非アクティブ化するには、[非アクティブ化] をクリックします。

デバイスがアクティブ化されていない場合は、登録コードを使用しないと登録できません。

関連リンク

[デバイスをカスタマーサイトに関連付ける](#) (57 ページ)

[デバイスを要求する](#) (56 ページ)

デバイスを解除する

このタスクについて

要求されたデバイスを解除し、所有権を親アカウントに返却することができます。

注

デバイスを解除すると、Device Enrollment Services は販売代理店注文 ID、Avaya 注文 ID、配送業者、配送業者追跡 ID などの情報を削除します。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。
3. [リリース] をクリックします。

関連リンク

[デバイスを要求する](#) (56 ページ)

追加列を表示する

このタスクについて

デフォルトでは、一部の列が [デバイスの管理] ページに表示されます。設定オプションからさらに列を表示できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 右上隅で、 をクリックします。
3. [列] をクリックします。
4. 次の該当する列を確認します。
 - [製品 ID]
 - [サムプリント]
 - [ハードウェア]
 - [配送業者追跡 ID]
 - [販売代理店注文 ID]
 - Avaya [注文 ID]
 - [配送業者]
 - [同期済み]

Device Enrollment Services の [デバイスの管理] ページに選択した列が表示されます。

デバイスの詳細のエクスポート

このタスクについて

要求されたデバイスに関する情報をエクスポートできます。MAC アドレス、シリアル番号、プロダクト、モデル番号、ハードウェア、サムプリントと製造年月日と時間を含む、エクスポートされたデバイスの詳細。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 表から、1 台以上のデバイスを選択します。
3. [エクスポート] をクリックします。
4. [ファイルの種類を選択] で、インポートするファイルのタイプを選択します。
デバイスの詳細は JSON 形式 か CSV 形式 でダウンロードできます。
5. [送信] をクリックします。
[エクスポートデバイス] ページはエクスポートされたデバイスを表示します。
6. デバイスの詳細をあなたのコンピュータにダウンロードするには  をクリックします。

一括操作のすべてのデバイスを選択する

このタスクについて

アカウントのすべてのデバイスで、一度に 1 つ以上の一括管理操作を実行できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. [nnnn アイテムすべてを選択] (nnnn はアカウントのデバイスの数) をクリックします。
3. 選択したすべてのデバイスで実行する、該当するアクションを選択します。

デバイス情報を検索する

このタスクについて

高度な検索を使用すると、詳細なデバイス情報を表示したり、単一のデバイスまたは複数のデバイスを検索したりできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 右上隅の  をクリックします。
3. [高度な検索] を選択します。
4. リストから次の検索カテゴリの 1 つを選択します。
 - [MAC アドレス]
 - [シリアル番号]
 - [製品 ID]
 - [モデル番号]
 - [ハードウェア]
 - [製造年月日]
 - [アクティブ状態]
 - [サムプリント]
 - [所有者のアカウント名]
 - [ACO 製品 ID]
 - [電話番号]
 - [ラベル名]

5. 次のオプションのいずれかを選択します。

- [等しい]
- [等しくない]
- [で始まる]
- [で終わる]
- [を含む]

6. 検索する値またはキーワードを入力します。

次の例では Device Enrollment Services がどのように指定された検索設定に基づいて検索するのかを示しています。

- 前のフィールドが [MAC アドレス] と [等しい] に設定されている場合は、検索する MAC アドレスを入力します。
- 前のフィールドが [MAC アドレス] と [等しくない] に設定されており、このフィールドに 15 を入力した場合、Device Enrollment Services はその MAC アドレスの 15 を除くデバイスを検索します。

7. (オプション) 別の検索オプションを追加するには、次を行います。

- [+] をクリックします。
- リストから [および] または [または] を選択します。
- 新しい行で検索条件を定義するには、手順 4 ～ 6 を繰り返します。

The screenshot shows the 'Device Management' interface. At the top, there are search filters. The first filter is set to 'MAC Address' with the value '0003D603BD74' and the operator 'Equals'. Below it, there is a second filter row with 'AND' as the operator and a placeholder 'Enter Filter Value'. Below the filters are 'Apply Filter' and 'Close Filter' buttons. Below that is a table of actions: 'Activate', 'Deactivate', 'Associate', 'Release', 'Delete', 'Export', and 'Associate Devices to Labels'. Below the actions is a table of device information.

	MAC Address	Serial Number	Product ID	Model Number	Manufacturing Date And Time	Hardware	Is Active	Owner Account
☐	0003D603BD74	19YT04210000	700513892	CU360	2019-01-24 16:29:00	0	false	Avaya Admin

At the bottom of the table, there is a 'Select All' button. At the bottom right of the interface, there is a status bar showing 'Total 1 items', '1 / page', and a 'Goto' button.

8. (オプション) 検索条件を削除するには、 をクリックします。

このボタンは、複数の検索条件を追加する場合にのみ使用できます。

9. 検索を実行する準備ができたなら、[フィルタの適用] をクリックします。

第 11 章: ファームウェアのバージョンとログ

ファームウェアバージョンを表示する

このタスクについて

デバイスには登録時に適切なファームウェアバージョンがインストールされている必要があります。デフォルトでは、デバイスが要求されていない場合、Device Enrollment Services はデバイスを必要な最小バージョンにアップグレードします。デバイスが要求される場合は、デフォルトでは、カスタマーアカウントで自動アップグレードが無効になっています。ファームウェアのアップグレードを有効にするには、[デバイスのファームウェアのアップグレードを有効または無効にする](#) (38 ページ)を参照してください。

★ 注

一部の電話バージョン（Avaya J100 シリーズ IP 電話 のバージョン 1.5 など）では、ファームウェアの自動アップグレードがサポートされません。Avaya J100 シリーズ IP 電話は、手動でバージョン 2.0 にアップグレードし、工場出荷時のデフォルト設定にリセットする必要があります。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイスファミリ] をクリックします。
2. デバイスリストで、デバイスモデルを見つけます。

[アップグレード可能ファームウェアバージョン] 列には、デバイス登録でサポートされている最新のファームウェアバージョンが表示されます。[サポートされているファームウェアバージョン] 列には、サポートされている最小ファームウェアバージョンが表示されます。

Avaya 管理者は、最小ファームウェアバージョンを更新できます。その他のアカウント管理者は、ファームウェア設定を表示することしかできません。

ログを表示する

このタスクについて

アカウントで実行された操作のログを表示できます。

手順

1. ログを表示するには、Device Enrollment Services Web ポータルで [ログビューア] をクリックします。
2. 画面の右側で、▼ をクリックします。

すべての列に下に「検索」フィールドが表示されます。

- 複数の「検索」フィールドを使用してログを検索できます。

「検索」フィールドについて詳しくは、「[ログビューア検索オプション](#) (63 ページ)」を参照してください。

「ログビューア」 検索オプション

次のテーブルで「ログビューア」画面の「検索」フィールドについて説明します。

検索オプション	機能
[タイムスタンプ]	[検索] フィールドに、日時を入力します。Device Enrollment Services がこの日時に一致するログを検索します。
[アカウント名/MAC]	[検索] フィールドに、アカウント名または MAC アドレスを入力すると、アカウントのログを表示できます。
[シリアル番号]	[検索] フィールドに、デバイスのシリアル番号を入力できます。
[プロセス名]	[検索] フィールドで、ログのタイプを選択します。 例えば、「登録」を選択すると、Device Enrollment Services にデバイスの MAC ドレスと証明書情報が表示されます。次は、表示される可能性がある証明書情報の例です。 CN=MACaddress,OU=Devices SV,O=Avaya India Private Limited,L=Pune,ST=MH,C=IN
[クライアントホスト]	[検索] フィールドに、Device Enrollment Services への接続に使用するリモート IP アドレスを入力します。
[アクション]	[検索] フィールドで、アクションを選択すると、そのアクションに関連するすべてのログが表示されます。 例えば、「登録」を選択すると、Device Enrollment Services にデバイス登録に関連するすべてのログが表示されます。
[ステータス]	[検索] フィールドで、次のいずれかのステータスオプションを選択します。 • [成功]: 成功した操作のログを表示します。 • [失敗]: 失敗した操作のログを表示します。
[イベントコード]	[検索] フィールドに、イベントコードを入力します。イベントコードは、特定のイベントの一意のコードです。
[メッセージ]	[検索] フィールドで、メッセージのキーワードを入力します。次は、メッセージの例です。 LoginId: exampleid, ObjectType: com.avaya.des.jp.DesAccount, Details: {accountId: 200, accountName: TestTest, desProfiles: [], desCustomerSites: [], desAccountUsers: [], desAccountType: {id: 5, accountType: Customer} }

監査ログをエクスポートおよびダウンロードする

このタスクについて

監査ログは、サービスプロバイダ、販売代理店、カスタマーとしてエクスポートおよびダウンロードできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[ログビューア] をクリックします。
2. (オプション) 画面の右側で、▼ をクリックします。
すべての列の下に [検索] フィールドが表示されます。
3. (オプション) 複数の [検索] フィールドを使用してログを検索できます。
4. リストから監査ログを選択し、[エクスポート] をクリックします。
5. エクスポートされたログを表示するには、[ログビューア] > [エクスポートされたログ] をクリックします。
6. ⬇ をクリックして監査ログをダウンロードします。

第 12 章: RingCentral デバイス管理による Avaya Cloud Office™

Device Enrollment Services では Avaya の販売代理店が [同期] 操作を使用して、デバイス情報を Avaya Cloud Office™ (ACO) システムにアップロードできます。

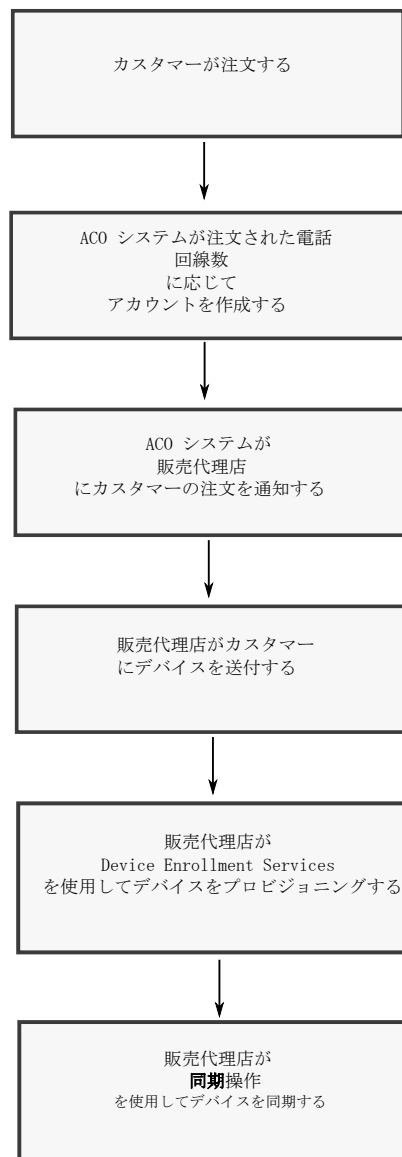
Avaya Cloud Office™ 同期操作の概要

Device Enrollment Services は、Device Enrollment Services インベントリで Avaya Cloud Office™ (ACO) がサポートする電話モデルを確認します。サポートされている ACO 電話モデルを ACO システムに要求したり、関連付けたり、アクティブ化したり、同期したりします。

次に記載したデバイスでは、現在 ACO との [同期] 操作をサポートしています。

- Avaya J139 IP 電話
- Avaya J159 IP 電話
- Avaya J169/J179 IP 電話
- Avaya J189 IP 電話
- Avaya B199 Conference Phone
- Polycom Analog Telephone Adaptor (ATA) デバイス

ACO 同期操作



ACO 対応デバイスを ACO システムと同期する

このタスクについて

Device Enrollment Services はサポートされている ACO 電話モデルを ACO システムに要求したり、関連付けたり、アクティブ化したり、同期したりします。

前提条件

次のデバイスの詳細を取得します。

- MAC アドレス、シリアル番号、またはその両方
- 販売代理店注文 ID。これは RingCentral カスタマーアカウント番号とも呼ばれます
- カスタマーが MAC アドレスに関連付けることができる電話番号。電話番号は E164 形式にする必要があります。例：電話：+442045180745

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [一括管理] に移動します。
2. [新規ジョブ] をクリックします。
3. [一括操作の名前] に名前を入力します。
4. [一括アクションを選択] で、[同期] を選択します。
5. (オプション) [アカウント名の選択] で、デバイスを同期するアカウントを選択します。
6. [ファイルの種類を選択] で、インポートするファイルのタイプを選択します。
7. [ファイルを選択] をクリックして、デバイスの情報を含むファイルをアップロードします。
8. ACO サーバーで新しいデバイスを作成するには、[ACO サーバーで作成するデバイス] スイッチを切り替えます。

デフォルトでは、[ACO サーバーで作成するデバイス] スイッチは無効になっています。

注

スイッチが無効になっている場合、ACO システムでデバイスが不足している場合に [同期] アクションで必要なデバイスを作成して MAC 更新を実行します。スイッチが有効になっている場合、[同期] アクションで新しい未割り当てのデバイスを作成し、ACO システムで MAC 更新を実行します。

9. (オプション) [テンプレートのダウンロード] をクリックして選択したファイルタイプのテンプレートをダウンロードします。
10. [送信] をクリックします。

Avaya Cloud Office™ (ACO) 製品 ID を表示する

このタスクについて

Ring Central システムのデバイスには別の製品 ID があります。ACO 対応デバイスモデルの [デバイスの管理] 画面に、Avaya Cloud Office™ (ACO) 製品 ID を表示できます。Device Enrollment Services はサポートされている電話を同期します。JSON または CSV 形式でデバイスの詳細をエクスポートおよびダウンロードすると、ACO 製品 ID を表示することもできます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[デバイス] > [デバイスの管理] に移動します。
2. 右上隅で、 をクリックします。
3. [列] をクリックします。
4. [ACO 製品 ID] オプションを確認します。

Device Enrollment Services の [デバイスの管理] 画面に [ACO 製品 ID] 列が表示されます。

Avaya Cloud Office™ (ACO) 対応デバイスのファームウェアバージョンを選択する

このタスクについて

サービスプロバイダまたは販売代理店として、すべての Avaya J100 シリーズ IP 電話 (ACO) カスタマーに対し、Avaya Cloud Office™ のアカウントレベルファームウェアバージョンを同時に更新できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[会社アカウント] > [アカウント管理] に移動します。
2. [他の操作] をクリックします。
3. [ACO ファームウェア管理] をクリックします。
4. [ファームウェアのバージョン] フィールドで、バージョンをクリックしてすべての Avaya Cloud Office™ デバイスを更新します。
5. [送信] をクリックします。

すべての Avaya Cloud Office™ デバイスが選択したバージョンに正常に更新されているかどうかを確認するには、[ログビューア] セクションに進みます。

第 13 章: アカウントを切り替える

サービスプロバイダは、任意の販売代理店アカウントに切り替えて、そのアカウント内のすべてのタスクを実行できます。この機能へのアクセス権限を取得するには、Avaya 管理者に要求を送信する必要があります。要求を送信すると、Avaya 管理者は要求を承諾または拒否できます。管理者が要求を承認すると、ユーザーとすべての販売代理店に電子メールが送信されます。Avaya 管理者が要求を拒否すると、拒否の理由が記載された電子メールが送信されます。

Avaya 管理者にアカウントの切り替え要求を送信する

このタスクについて

サービスプロバイダは、アカウント切り替え要求を Avaya 管理者に送信できます。切り替えにより、作成した販売代理店アカウントに移動できるようになります。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[アカウントの切り替え] をクリックします。
2. [アクセスをリクエストする] をクリックします。
3. 確認のため [OK] をクリックします。

販売代理店アカウントに切り替える

このタスクについて

Avaya 管理者が要求を承認すると、その販売代理店アカウントに関連するすべてのデータを表示できます。自分のヒエラルキの任意の販売代理店アカウントに切り替えて、サービスプロバイダとして必要なタスクを実行できます。

手順

1. Device Enrollment Services Web ポータルで、[アカウントの切り替え] をクリックします。
2. アカウントのリストから、[切り替える] をクリックすると、そのアカウントに移動します。

Device Enrollment Services で販売代理店アカウントに移動します。販売代理店アカウントに切り替えた後、右上隅に通知が表示されます。

3. [販売代理店アカウントの終了] をクリックすると、サービスプロバイダアカウントに戻ります。

第 14 章: リソース

ドキュメント

Device Enrollment Services では現在 Avaya Vantage™ と Avaya J100 シリーズ IP 電話 をサポートしています。この Device Enrollment Services ドキュメントと次の表に記載されている関連ドキュメントは、<http://support.avaya.com> と <http://documentation.avaya.com> にあります。

ドキュメント	ドキュメントの使用目的 :	対象ユーザー
<i>Installing and Administering Avaya J100 Series SIP IP Phones in Avaya Aura®</i>	J129、J139、J169、および J179 電話機モデルを含む Avaya J100 シリーズ IP 電話のインストール、設定、メンテナンスを行う。	実務担当者と管理者
<i>Installing and Administering Avaya Vantage™ in an Avaya Aura® or IP Office Environment</i>	Avaya Vantage™ を Avaya Aura® または IP Office 環境にインストール、設定、維持する。	実務担当者と管理者
<i>Installing and Administering Avaya Vantage™ in an Open SIP Environment</i>	Avaya Vantage™ を Open SIP 環境にインストール、設定、維持する。	実務担当者と管理者

その他の参照ドキュメント

次の表に、<http://support.avaya.com> から入手可能なその他の参照ドキュメントを示します。これらのドキュメントは、主に社内実装担当者、またはポートとセキュリティに関する一般情報が必要なユーザーを対象としています。

* 注

これらの一部の参照ドキュメントにアクセスするには、サポートサイトにログインする必要があります。

ドキュメント	リンク
Avaya Device Enrollment Services ポートマトリックス	https://downloads.avaya.com/css/P8/documents/101056581
Installation Guide for Device Enrollment Services	https://downloads.avaya.com/css/P8/documents/101056289
Data Privacy Controls Addendum for Device Enrollment Services	https://downloads.avaya.com/css/P8/documents/101057536

Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索

手順

1. <https://support.avaya.com> に進みます。
2. スクリーン上部に、ユーザー名とパスワードを入力し、[Login] をクリックします。

3. [Support by Product] > [Documents] をクリックします。
4. [Enter your Product Here] に製品名を入力し、対象製品をリストから選択します。
5. [Choose Release] で、適切なリリース番号を選択します。
製品のリリースが1つしかない場合、[Choose Release] フィールドは使用できません。
6. [Content Type] フィルターでドキュメントタイプをクリックするか、[Select All] をクリックして、使用可能なドキュメント一覧を表示します。
たとえば、ユーザーガイドの場合は、[User Guides] フィルターで [Content Type] をクリックします。リストには、選択したカテゴリのドキュメントのみが一覧表示されません。
7. [Enter] をクリックします。

Avaya ドキュメントセンター のナビゲーション

一部のプログラムでは、最新のカスタマー向けドキュメントが Avaya ドキュメントセンター Web サイト (<https://documentation.avaya.com>) から入手できるようになりました。

❗ 重要

Avaya ドキュメントセンター から入手できないドキュメントについては、トップメニューで [その他のサイト] > [サポート] をクリックして <https://support.avaya.com> を開きます。

Avaya ドキュメントセンター を使用すると、次のことができます。

- キーワードを検索します。
製品でフィルタリングするには、[フィルタ] をクリックして製品を選択します。
- ドキュメントを検索します。
[製品およびソリューション] から、ソリューションカテゴリと製品を選択し、リストから該当するドキュメントを選択する。
- 検索結果ページでドキュメントを並べ替えます。
- [言語] (🌐) をクリックして表示言語を変更するとローカライズされたドキュメントが表示されます。
- PDF の現在のセクション、セクションとそのサブセクション、またはドキュメント全体を公開します。
- [マイドキュメント] (☆) を使用してコレクションにコンテンツを追加します。
[コンテンツの管理] > [マイドキュメント] メニューに進み、次のいずれかを行います。
 - コレクションを作成、名前変更、削除する。
 - さまざまなドキュメントのトピックをコレクションに追加する。
 - 選択したコンテンツの PDF をコレクションに保存し、コンピュータにダウンロードする。
 - 電子メールで他のユーザーとコレクションのコンテンツを共有する。

- 他のユーザーと共有したコレクションを受信する。
- [監視] アイコン (👁️) を使用して自分自身をウォッチャーに追加します。
[コンテンツの管理] > [ウォッチリスト] メニューに進み、次のいずれかを行います。
 - [電子メール通知に含める] を有効にして電子メールアラートを受信する。
 - 選択したコンテンツ、ドキュメントのすべてのコンテンツ、または [ウォッチリスト] ページのすべてのコンテンツの監視を解除する。

ドキュメントからコンテンツが更新または削除されたとき、またはドキュメントが Web サイトから削除されたときに、ウォッチャーとして通知されます。
- Facebook、LinkedIn、Twitter などのソーシャルメディアプラットフォームのセクションを共有します。
- セクションに関するフィードバックを送信し、コンテンツを評価します。

* 注

一部の機能は、Web サイトへのログイン時にのみ使用できます。使用可能な機能は役割によって異なります。

サポート

最新のドキュメント、製品に関する通知、ナレッジ記事を入手するには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) にアクセスしてください。リリースノート、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。オンラインサービス要求システムを使用して、サービス要求を作成します。ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエージェントに要求します。

Avaya InSite Knowledge Base を使用する

Avaya InSite Knowledge Base は、Web ベースの検索エンジンで以下を提供します。

- 最新のトラブルシューティング手順と技術的ヒント
- サービスパックに関する情報
- カスタマー/テクニカルドキュメントへのアクセス
- トレーニング/認定プログラムに関する情報
- その他の関連する情報へのリンク

正規の Avaya パートナーまたはサポート契約のある現行の Avaya カスタマーである場合は、無償でナレッジベースにアクセスできます。ログインアカウントと有効な Sold-To 番号が必要です。

問題に対するソリューションを利用するには、Avaya InSite Knowledge Base を使用します。

1. <http://www.avaya.com/support> に進みます。
2. 有効な Avaya ユーザー ID とパスワードを使用して、Avaya サポート Web サイトにログインします。

[Avaya Support] ページが表示されます。

3. [製品別サポート] > [製品固有のサポート] をクリックします。
4. [Enter Product Name] で製品名を入力して、Enter キーを押します。
5. リストから製品を選択し、リリースを選択します。
6. [Technical Solutions] タブをクリックして記事を表示します。
7. 関連する記事を選択します。

付録 A: サポートされるデバイスと機能

次の表に、登録機能の一覧と各機能でサポートされる最小デバイスリリースを示します。Device Enrollment Services では現在次のデバイスをサポートしています。

- Avaya J100 シリーズ IP 電話
- Avaya Vantage™
- B199
- Avaya CU360

関連リンク

[デバイスのファームウェアのアップグレードを有効または無効にする](#) (38 ページ)

Avaya J100 シリーズ IP 電話

次の表に、登録機能の一覧と、Avaya J100 シリーズ IP 電話 でサポートされる最小デバイスリリースを示します。

デバイス登録機能	J129	J139	J159	J169 および J179	J189
プロビジョニング URL	2.0	3.0	4.0.3	2.0	4.0.5
デバイスの再プロビジョニング	2.0	3.0	4.0.3	2.0	4.0.5
HTTPS プロビジョニング URL	2.0	3.0	4.0.3	2.0	4.0.5
ファームウェアのアップグレード	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5
HTTP プロビジョニング URL	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5
IP アドレスを含むプロビジョニング URL	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5
プロビジョニング URL を含む証明書	2.0	3.0	4.0.3	2.0	4.0.5
8 桁の数値登録コード	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5

[次のページに続く...](#)

デバイス登録機能	J129	J139	J159	J169 および J179	J189
12 桁の数値登録コード	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5
ファームウェアアップグレード後の再トリガー	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5
デバイスグループ ID	3.0	3.0	4.0.3	3.0	4.0.5
Avaya 発行証明書	4.0.1	4.0.1	4.0.3	4.0.1	4.0.5
プロビジョニング登録コード	4.0.4	4.0.4	4.0.4	4.0.4	4.0.5
ファームウェアマネージャツール	4.0.6.0	4.0.6.0	4.0.6.0	4.0.6.0	4.0.6.0
Avaya Cloud Office™ サポート	4.0.6.1.9	4.0.6.1.9	4.0.6.1.9	4.0.6.1.9	4.0.6.1.9
プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

Avaya Vantage™ 電話

次の表に、登録機能の一覧と、Avaya Vantage™ でサポートされる最小デバイスリリースを示します。

デバイス登録機能	Avaya Vantage™ K155	Avaya Vantage™ K165_DO NOT USE および K175	Avaya Vantage™ HW-3 K155 および K175
プロビジョニング URL	2.0	1.1	3.0
デバイスの再プロビジョニング	2.0	1.1	3.0
HTTPS プロビジョニング URL	2.0	1.1	3.0
ファームウェアのアップグレード	2.0	1.1	3.0
HTTP プロビジョニング URL	2.0	1.1 (サービスパック 1)	3.0
IP アドレスを含むプロビジョニング URL	なし	なし	なし
プロビジョニング URL を含む証明書	2.0	2.0	3.0
8 桁の数値登録コード	2.0	2.0	3.0
12 桁の数値登録コード	2.0	2.0	3.0

次のページに続く...

デバイス登録機能	Avaya Vantage TM K155	Avaya Vantage TM K165_DO NOT USE および K175	Avaya Vantage TM HW-3 K155 および K175
ファームウェアアップグレード後の再トリガー	2.0	2.0	3.0
デバイスグループ ID	2.0	2.0	3.0
Avaya 発行証明書	2.1	2.1	3.0
プロビジョニング登録コード	なし	なし	なし
ファームウェアマネージャツール	2.0.5	2.0.5	3.0
Avaya Cloud Office TM サポート	なし	なし	3.0
プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services	2.0	1.1	3.0

その他のデバイス

次の表に、登録機能の一覧と、B199 と Avaya CU360 でサポートされる最小デバイスリリースを示します（モデル番号 - 700513892、700513893、700513894）。

デバイス登録機能	B199	CU360
プロビジョニング URL	1.0.1	11.3.0.40
デバイスの再プロビジョニング	1.0.1	11.3.0.40
HTTPS プロビジョニング URL	1.0.1	11.3.0.40
ファームウェアのアップグレード	なし	なし
HTTP プロビジョニング URL	1.0.1	11.3.0.40
IP アドレスを含むプロビジョニング URL	1.0.1	11.3.0.40
プロビジョニング URL を含む証明書	1.0.1	11.3.0.40
8 桁の数値登録コード	1.0.1	11.3.0.40
12 桁の数値登録コード	なし	11.3.0.40
ファームウェアアップグレード後の再トリガー	1.0.1	なし
デバイスグループ ID	なし	11.3.0.40
Avaya 発行証明書	1.0.1	11.3.0.40
プロビジョニング登録コード	なし	11.3.0.40
ファームウェアマネージャツール	1.0.3.0	なし
Avaya Cloud Office TM サポート	1.0.1.0.9	なし
プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services	なし	11.3.0.40

デバイス登録機能の説明

次の表に、デバイス登録機能の説明を示します。

機能	説明
プロビジョニング URL	プロビジョニング URL は、デバイス設定ファイルが格納されているディレクトリへのパスを提供します。正常に登録されたデバイスはすべて、プロビジョニング URL にリダイレクトされます。
デバイスの再プロビジョニング	デバイス管理者は、デバイスの [設定] メニューを使用して Device Enrollment Services の検出を実行できます。
HTTPS プロビジョニング URL	デバイスは HTTPS ベースのプロビジョニング URL を読み取りまたは解析できます。セキュアな HTTPS プロトコルを使用するプロビジョニングサーバーのパブリックでない FQDN にセキュアな接続を提供するには、証明書が必要です。詳しくは、「 プロビジョニングサーバーのセットアップ (25 ページ)」を参照してください。
ファームウェアのアップグレード	デバイスは、デバイスのソフトウェアバージョンが最新バージョンでない場合には、ファームウェアのアップグレード URL へのリダイレクトをサポートします。
HTTP プロビジョニング URL	デバイスは HTTP ベースのプロビジョニング URL を読み取りまたは解析できます。
IP アドレスを含むプロビジョニング URL	プロビジョニング URL で IP アドレスを使用できます。デバイスは IP アドレスに基づくプロビジョニング URL を読み取りまたは解析できます。
プロビジョニング URL を含む証明書	デバイスの登録プロセス中、デバイスは Device Enrollment Services によって送信された CA 証明書をプロビジョニングします。
8 桁または 12 桁の数値登録コード	デバイスが要求されておらず、カスタマーサイトにも関連付けられておらず、さらに Device Enrollment Services でアクティブになっていない場合には、数値の登録コードを入力するように求められます。詳しくは、「 8 桁または 12 桁の数値登録コードを生成する (43 ページ)」を参照してください。
ファームウェアのアップグレード後のプロビジョニングの再トリガー	ファームウェアがアップグレードされた後、デバイスは Device Enrollment Services の検出を再度実行します。
デバイスグループ ID	デバイスは登録時に Device Enrollment Services のプロファイルで定義されている電話グループ番号に基づいて設定されます。
Avaya 発行証明書	デバイスと管理サーバー間でセキュアな接続を確立するため、公開鍵基盤 (PKI) ID 証明書が使用されます。電話機は Device Enrollment Services から証明書を受け取ります。
プロビジョニング登録コード	12 桁のプロビジョニング登録コードには、作成した 8 桁のアカウント ID と 4 桁の PIN が含まれています。詳しくは、「 12 桁のプロビジョニング登録コード (45 ページ)」を参照してください。

次のページに続く...

機能	説明
ファームウェアマネージャツール	カスタマーは、特定のデバイスモデルのファームウェアアップグレードをオフにしたり、デバイスを最新のファームウェアバージョンにアップグレードしたり、以前のファームウェアバージョンからファームウェアバージョンを選択したりできます。
Avaya Cloud Office™ サポート	サポートされている Avaya Cloud Office™ 電話モデルのデバイス情報を ACO システムにアップロードして同期できます。
プロビジョニングサーバーとしての Device Enrollment Services	デバイスは HTTPS ベースのプロビジョニング URL として Device Enrollment Services を読み取りまたは解析し、Device Enrollment Services サーバーからのみ設定ファイルをリダイレクトおよび取得できます。

索引

数字

12 桁のプロビジョニング登録コード	45
アカウント管理	46
サイト管理	45
生成する	45
作成する	46
8 桁の登録コード	
再生成する	45
8 桁または 12 桁の数値登録コード	
更新する	44
8 桁または 12 桁の登録コード	
作成する	43

A

ACO 製品 ID	
表示	68
ACO 対応デバイスを同期する	67
aco デバイスの注文モデル	66
ACO ファームウェアバージョン	
選択する	68
API	
アクセスの要求	39
Avaya Cloud Office デバイス管理	65
Avaya Cloud Office 同期操作	65
Avaya CU360	77
Avaya J100 シリーズ IP 電話機	75
Avaya Vantage	76
Avaya サポート Web サイト	73
Avaya 証明書作成	
無効にする	26
有効にする	26
Avaya 証明書の生成	25

B

B199	77
------	----

C

CA のリスト	34
---------	----

D

Device Enrollment Services アカウント	12
----------------------------------	----

I

InSite Knowledge Base	73
-----------------------	----

あ

アカウント	12
-------	----

アカウント管理	30
アカウント管理者	
更新する	40
削除	41
追加する	39
アカウントタイプ	9
アカウントに関連付けられたプロファイル	
設定する	42
アカウントにサインアップする	12
アカウントの切り替え要求	
送信する	69
アカウントヒエラルキ	
表示	37
アカウントの切り替え	69
アクティブ化する	
デバイス	58

い

一括操作	53
一般設定	16
インポートする	
デバイス	52

う

ウォッチリスト	72
---------	----

え

エクスポートする	
ジョブの詳細	55
デバイス	59

か

会社アカウント	
更新する	33
削除	37
無効にする	33
有効にする	33
の概要	8
カスタマーアカウント	
追加する	31
カスタマーサイトに関連付ける	
デバイス	57
監査ログ	64
関連付けを解除する	
デバイス	57
関連ドキュメント	71

き

機能	
デバイス登録	78

機能の説明	78	サポート	73
基本プロビジョニング	20	サポートされている機能	75
切り替え		サポートされているデバイス	75-77
販売代理店アカウント	69		
け		し	
検索オプション		小数のデバイスに対するデバイス管理	56
サイト一括管理によって	48	使用方法	
デバイスのジョブ詳細によって	54	二要素認証	14
登録コード別	42	承認する	
プロフィール別	42	リンクの要求	49
ログビューアによって	63	ジョブの詳細	
検索中...		エクスポートする	55
アカウント	41	表示	54
こ		新規アカウント	12
更新する		新機能	9
8桁または12桁の数値登録コード	44	新規ラベル	
アカウント管理者	40	作成する	50
会社アカウント	33		
ファームウェア設定	22	す	
プロフィール	28	すべてのデバイスを追加する	60
高度な検索		せ	
デバイス管理	60	生成する	
コレクション		12桁のプロビジョニング登録コード	45, 46
PDFの生成	72	8桁または12桁の登録コード	43
コンテンツの共有	72	アカウント管理	46
削除	72	サイト管理	45
名前の編集	72	セキュアでないプロビジョニング	25
コンテンツ		セキュアなプロビジョニング	25
PDF出力の公開	72	切断する	
アップデートの監視	72	デバイス	58
共有する	72	設定する	16
検索中	72	アカウントに関連付けられたプロフィール	42
最終更新日で並べ替え	72	選択する	68
コンテンツの共有	72	そ	
コンテンツの検索	72	送信する	
さ		アカウントの切り替え要求	69
最終更新日でドキュメントを並べ替える	72	た	
再生成する		ダッシュボードの使い方	15
8桁の登録コード	45	つ	
サイト管理	41	追加	
サイトの詳細		アカウント管理者	39
表示	48	カスタマーアカウント	31
サイトを関連付ける		販売代理店アカウント	30
アカウント管理	33, 47	プロフィール	27
サイト管理	47	追加列	
サインアップ	12	表示	59
新規登録	12	通知	16
削除			
アカウント管理者	41		
会社アカウント	37		
ラベル	51		
作成する			
新規ラベル	50		

て

デバイス

アクティブ化する	58
インポートする	52
エクスポートする	59
カスタマーサイトに関連付ける	57
関連付けを解除する	57
切断する	58
販売代理店に関連付ける	56
非アクティブ化する	58
要求する	56
ラベルと関連付ける	50
ラベルの関連付けの解除	51
デバイス管理	52
高度な検索	60
デバイス登録フローチャート	24
デバイス登録マトリックス	
機能	78
デバイスのプロビジョニングワークフロー	10
デバイスのロックアウト設定	19
電子メール通知設定	18
電子メール通知の説明	18

と

登録コード	43
ドキュメントセンター	72
コンテンツを見つける	72
ナビゲーション	72
ドキュメントセンターでコンテンツを見つける	72
ドキュメントの変更	7
ドキュメントポータル	72
コンテンツを見つける	72
ナビゲーション	72

に

二要素認証

使用する	14
有効にする	38

は

バージョン	16
バージョン情報	16
パスワードのリセット	14
販売代理店アカウント	
切り替え	69
追加する	30
販売代理店アカウントをサービスプロバイダに リンクする	48
販売代理店に関連付ける デバイス	56

ひ

非アクティブ化する

非アクティブ化する (続き)

デバイス	58
表示する	
アカウントヒエラルキ	37
サイトの詳細	48
ジョブの詳細	54
表示	
ACO 製品 ID	68
追加列	59
パスワードポリシー	17
ファームウェアバージョン	62

ふ

ファイルテンプレートの設定	20
ファイルのアップグレード	21
ファームウェア管理	22
ファームウェア設定	
更新する	22
ファームウェアのアップグレード	
無効にする	38
有効にする	38
ファームウェアバージョン	
表示	62
プロファイル	
更新する	28
削除する	29
追加	27
プロファイル管理	25
プロファイルの一括関連付け	47
プロファイルを削除する	29

へ

ヘルプ	16
ヘルプ情報	16
変更する	
オンラインヘルプの言語	17

ま

マイドキュメント	72
----------	----

む

無効にする

Avaya 証明書作成	26
会社アカウント	33
ファームウェアのアップグレード	38

も

目的	7
----	---

ゆ

有効にする

Avaya 証明書作成	26
-------------	----

有効にする (続き)	
会社アカウント	33
二要素認証	38
ファームウェアのアップグレード	38
ユーザー管理	39

よ

要求する	
API アクセス	39
デバイス	56

ら

ラベル	
削除	51
ラベル管理	50
ラベルと関連付ける	
デバイス	50
ラベルの関連付けの解除	
デバイス	51

り

リンクする	
販売代理店アカウントをサービスプロバイダに	48
リンクの要求	
承認する	49

ろ

ログアウト	15
ログイン	13
ログを表示する	62